

潮江東小学校区
津波避難計画書

平成 26 年 3 月作成
令和 7 年 3 月改訂

潮江東地区連合防災会

目 次

	page
第1章 はじめに.....	1
第2章 地区別津波避難計画の目的.....	2
第3章 想定される地震・津波と被害想定.....	3
第1節 高知市全体の予測.....	3
第2節 潮江東小学校区の予測.....	8
第4章 潮江東小学校区の概要.....	12
第1節 地形・地質的な特徴.....	12
第2節 社会環境.....	15
第5章 潮江東小学校区の津波避難の考え方.....	20
第1節 避難行動の考え方.....	20
第2節 緊急避難場所.....	24
第3節 避難困難地域の検討.....	28
第4節 津波避難経路.....	31
第6章 潮江東小学校区の津波避難における課題と取組.....	32
第1節 避難行動の課題.....	32
第2節 課題の解決に向けた取組.....	34
第7章 検討経緯.....	36
第8章 南海トラフ地震臨時情報発表時における事前避難.....	40

巻末資料

- ① 潮江地区緊急避難場所一覧
- ② 臨時情報について
- ③ 潮江東小学校区津波避難行動支援マップ（平成27年度作成）

第1章 はじめに

高知県真下付近で発生すると予測されている南海トラフ地震は、今後20年以内に60%程度、30年以内に80%程度、40年以内に90%程度（地震調査研究推進本部：令和7年1月現在）の高い確率で発生すると言われていています。また、内閣府が平成24年8月に発表した「南海トラフの巨大地震^{※1}の被害想定について」ではマグニチュード9.1と、東日本大震災のマグニチュード9.0を上回る規模の地震の発生を予想しています。

高知市においても、過去の南海地震で繰り返し被害を受けてきたことを踏まえ、「南海トラフの巨大地震」が発生した場合でも、被害を最小限に軽減するために市民と事業者、市などが一体となって対策を進める必要があります。

高知県が平成25年12月に公表した「高知県津波避難計画策定指針」では、津波浸水の予測される区域内の自主防災組織などは、津波からの円滑な避難を行うために、「地域（地区別）津波避難計画」を作成することが規定されています。

そのため、津波被害から命を守るために、市民一人一人が「津波から避難する」意識を高め、お互いに助け合い、津波が到達するまでに安全な高台や津波避難ビルなどへ迅速に避難することを目的として、潮江東地区連合防災会は「潮江東小学校区津波避難計画書」を策定しました。

※1 「南海トラフの巨大地震」とは、東海・東南海・南海地震が連動して同時に発生した場合の地震のことで、発生頻度は極めて低いが、科学的見地により発生する可能性のある最大クラスの地震です。

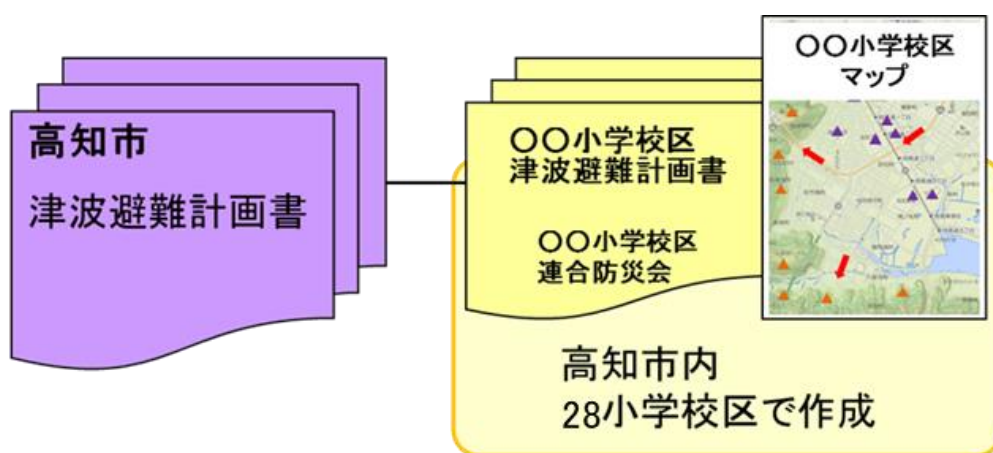


図1 小学校区毎の津波避難計画の位置付け

第2章 地区別津波避難計画の目的

高知市は、南海トラフ地震と津波によって大きな被害が想定されています。大きな災害に襲われるおそれのある地域で暮らす私たちにとって、災害に備えることは、安心に暮らす上で必要不可欠なことです。その手段は、地域の現状と想定される災害について「正しく知り」、「正しく恐れ」、「正しく行動する」ことです。

地区別津波避難計画は、地震発生から、津波が終息するまでの間、どのような状況に陥っても、あきらめず自らの命を守る適切な行動が取れることを目的として、自主防災組織等が、自らの行動計画として策定するものです。

行動計画策定や改訂に至る経緯、避難訓練等で明らかとなった課題をこの計画書に明記し、地域住民が主体となって、行政や学校、事務所等と連携して解決に向けた取組を継続します。

なお、この計画書では地震発生から津波警報が解除されるまでの避難について主に記載しています。避難生活をする避難所に関する情報やルールなどについては、別に検討します。

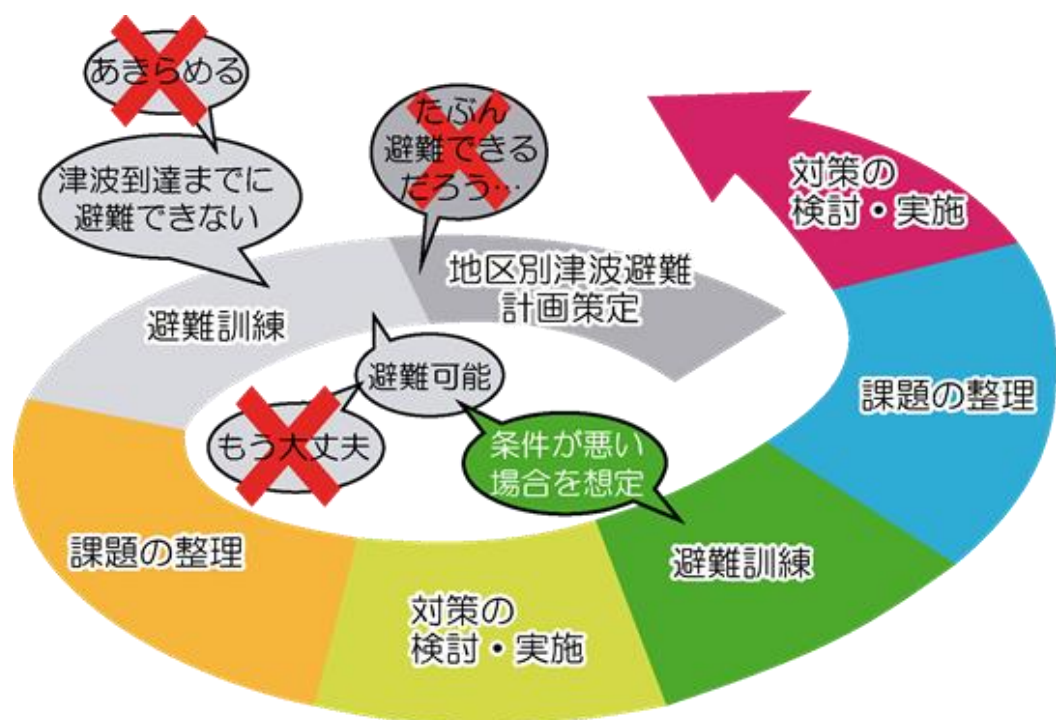


図2 津波避難計画策定からスタートする地域の津波対策のイメージ
(出典：地域津波避難計画点検マニュアル(平成25年12月高知県))

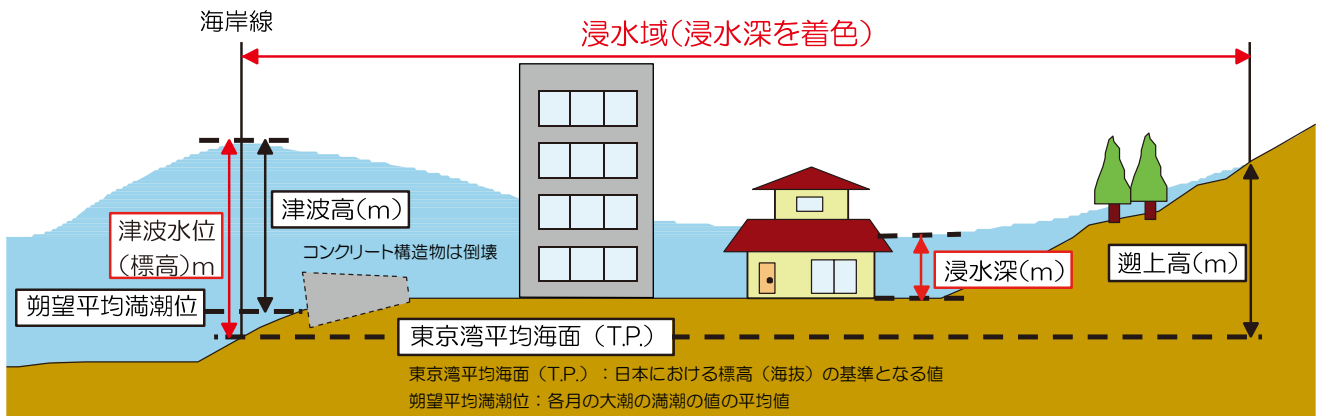
第3章 想定される地震・津波と被害想定

第1節 高知市全体の予測

高知県が平成24年12月に発表した「南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測」の結果概要は以下のとおりです。

表1 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測の概要

想定地震	南海トラフの巨大地震（内閣府中央防災会議モデル：平成24年8月）
地震規模	マグニチュード9.1（津波断層モデル）
予想震度	震度6弱～7（高知市）
津波予測における潮位	朔望平均満潮位：T.P.+0.93m
津波予測における構造物の取り扱い	<p>【堤防】 土で築造された堤防は、地震前の高さの25%に沈下し、津波が越流し始めた時点で「堤防なし」とする。 コンクリート構造物は、地震により倒壊して、はじめから「堤防なし」とする。</p> <p>【防波堤】 地震により倒壊するとし、はじめから「防波堤なし」とする。</p> <p>【水門など】 耐震化され、自動降下対策済み、または常時閉鎖の施設は水門が閉まっているものとする。これ以外の水門などは開いているものとする。</p>



※津波浸水深とは、津波により水に浸かってしまう地面からの高さを示す。
 ※朔望平均満潮位とは、朔（新月）及び望（満月）の日から5日以内に現れる各月の最高満潮面の平均値を示す。
 ※T.P.とは、東京湾中等潮位。地表面の標高、すなわち、海面からの高さを表す場合の基準となる水準面を示す。

図3 津波高・浸水深のイメージ

津波からの避難行動を考える場合、津波浸水予測図や、津波浸水予測時間図が参考となります。また、来襲する津波の方向や挙動を表したアニメーションは、避難の方向や避難時間を把握する上で大変参考になるものです。

潮江地区では、浦戸湾口に近い南側からの浸水と、鏡川の河口付近を遡上した津波による地区東側からの浸水が想定されています。これらの予測結果を頭に置いて緊急避難場所や避難経路を選定することが重要です。

【高知県版第2弾】南海トラフの巨大地震による津波のアニメーション

高知県HP：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/tsunami-anime.html>

(資料1 高知市全体の地震・津波予測)

[高知市の震度分布図]

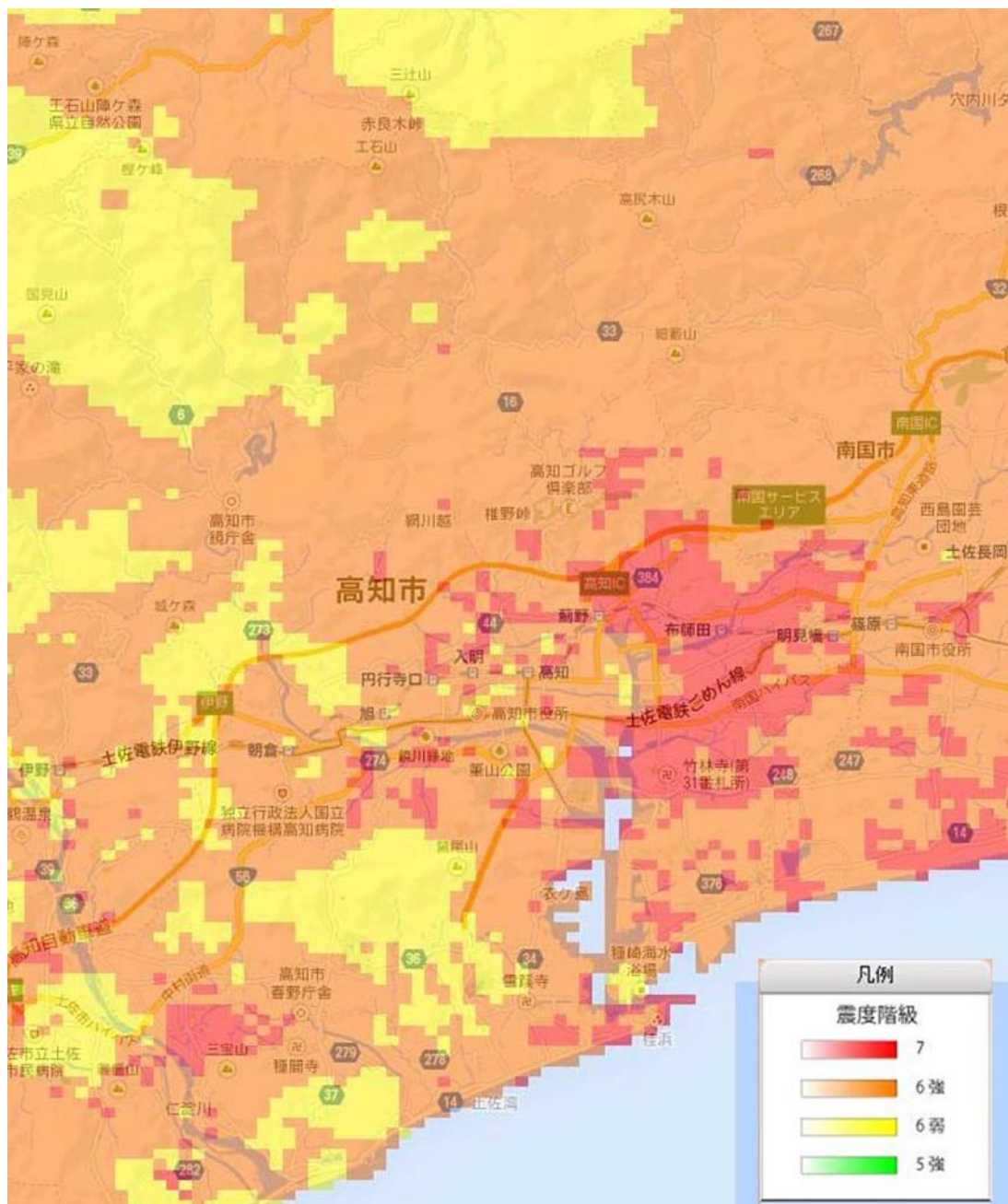


図4 高知市の震度分布図（出典：高知県HPより）

[高知市の津波浸水予測図]

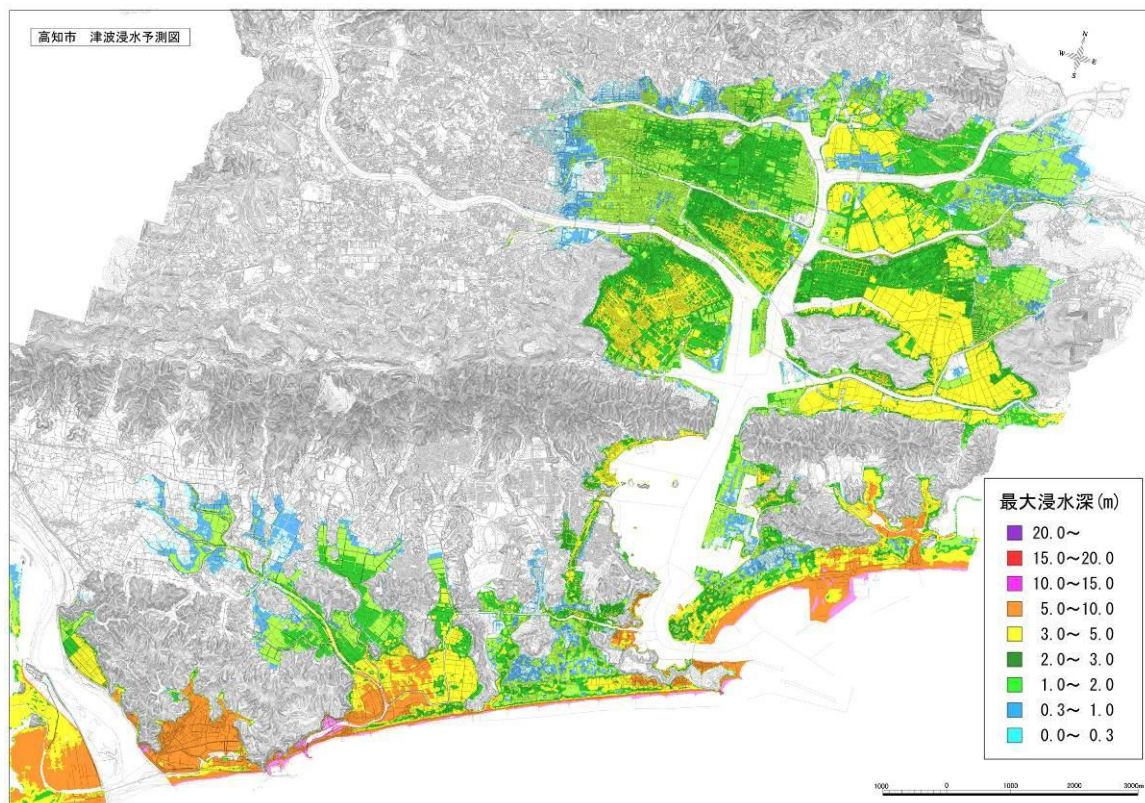


図 5 高知市の津波浸水予測図

[高知市の津波浸水予測時間図]

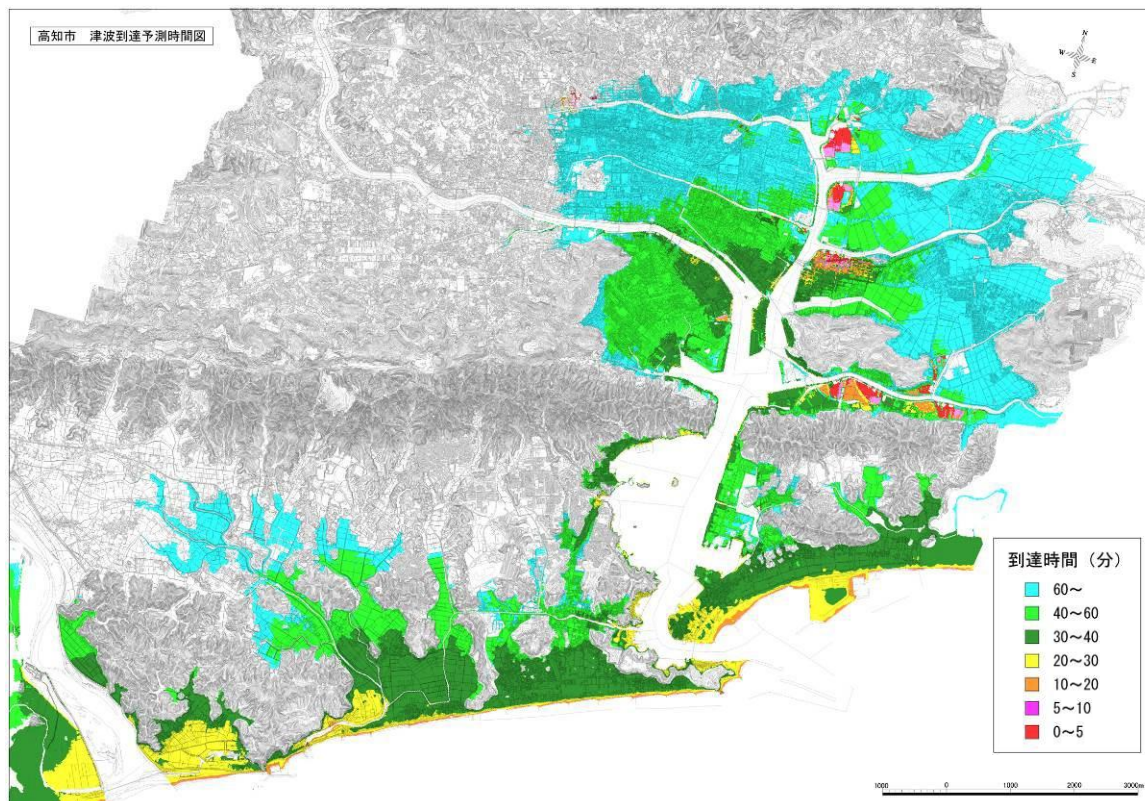


図 6 高知市の津波浸水予測時間図

●長期浸水とは

地震が発生すると地盤の変動により、標高の低い土地が海面より低くなり長期に渡って浸水するおそれがあります。これが「長期浸水」です。

最大クラスの地震による長期浸水予測（L2）

想定最大地盤沈降量：-1.7m（ケース③ 紀伊半島沖～四国沖に大すべり域を設定）

想定対象潮位：T.P.+0.9m

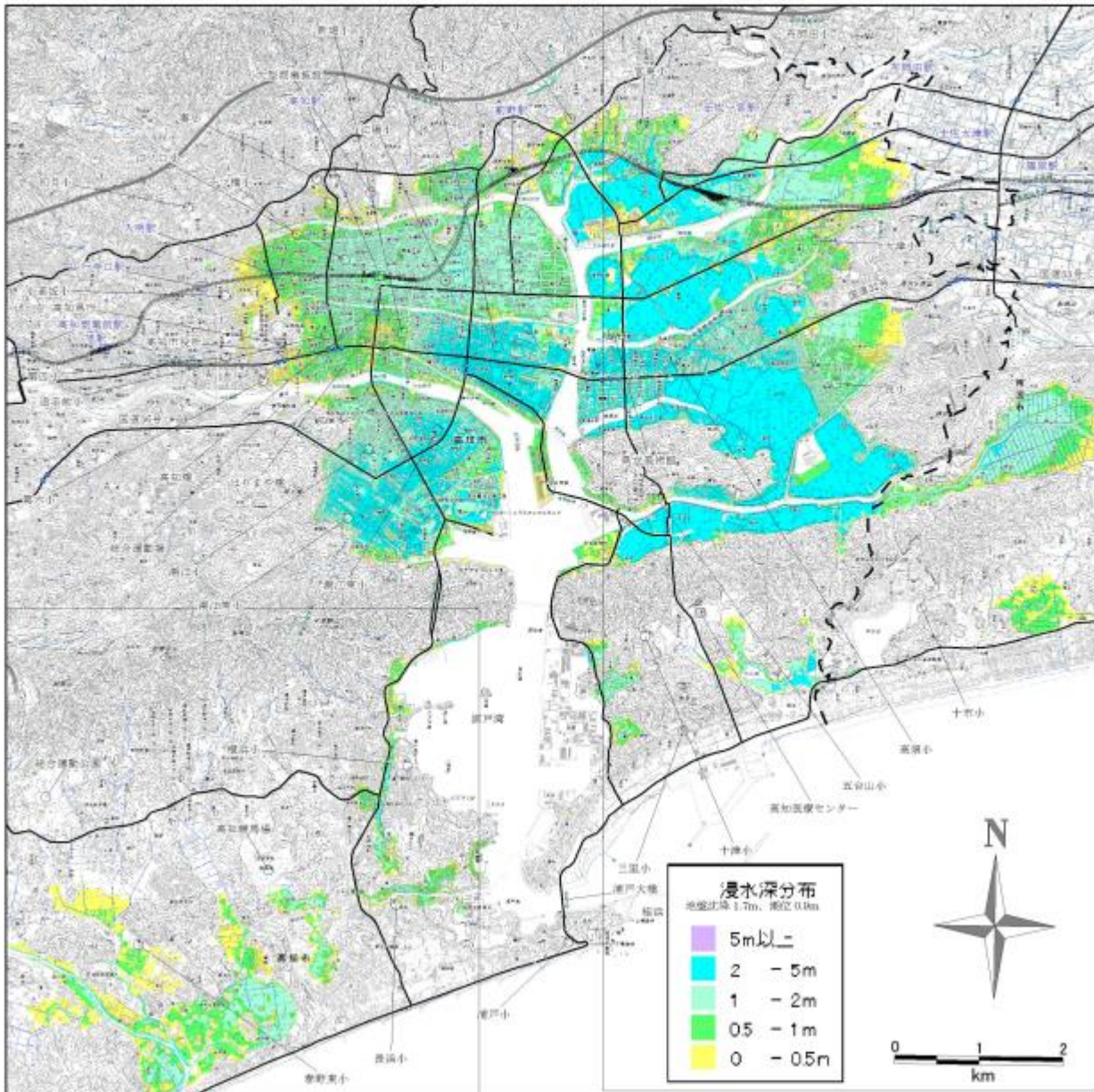


図 7 高知市長期浸水予測図（出典：南海トラフ地震長期浸水予測図）

(資料 2 高知市全体の地震・津波による被害想定)

① 建物被害：棟数 約 104,000 棟

(出典：「南海トラフ巨大地震による被害想定」(資料 2：市町村ごとの被害 2 ページ)
平成 25 年 5 月)

表 2 高知市における地震及び津波による建物被害の想定

被害の要因	全壊棟数 (棟)		半壊棟数 (棟)
	現状	対策後	現状
液状化	340	-	1,400
揺れ	32,000	5,000	29,000
急傾斜地崩壊	260	-	230
津波	16,000	-	22,000
地震火災	2,800	-	-
合計	52,000	5,000	52,000

※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

② 人的被害(平成 17 年度国勢調査)：高知市総人口 350,426 人

(出典：「南海トラフ巨大地震による被害想定」(資料 2：市町村ごとの被害 2 ページ)
平成 25 年 5 月)

表 3 高知市における地震及び津波による人的被害の想定

被害の要因	現状			対策後		
	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者	死者数 (人)	負傷者数 (人)	重傷者
建物の崩壊	2,100	11,000	6,300	270	3,000	1,700
急傾斜地の崩壊	40	40	20	-	-	-
津波	10,000	840	290	590	0	0
火災	280	200	60	-	-	-
ブロック塀等の倒壊	若干数	若干数	若干数	-	-	-
合計	12,420	12,080	6,700	860	3,000	1,700

※四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

第2節 潮江東小学校区の予測

高知県が平成24年12月に公表した南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測とそれに基づく被害想定によれば、潮江東小学校区では、以下のような想定がなされています。

- 潮江東小学校区の想定震度は最大震度7であり、揺れによる建物などの倒壊、屋内落下物による人的被害、火災の発生が想定される。
- 津波想定浸水深は最大で3~5mであり、建物の2階を越える。
- 津波浸水予測時間は、竹島川河口付近で30分、その他の地区で40~60分と想定されている。
- 液状化のおそれが高く、避難行動において道路の凹凸、杭基礎構造物との不等沈下、マンホールの突出などを想定する必要がある。



図8 揺れによって想定される被災状況

(出典：地域津波避難計画点検マニュアル(平成25年12月高知県))



図9 津波浸水深の目安

(出典：高知県版第2弾 南海トラフ巨大地震による震度分布・津波浸水予測 平成24年12月10日 高知県)

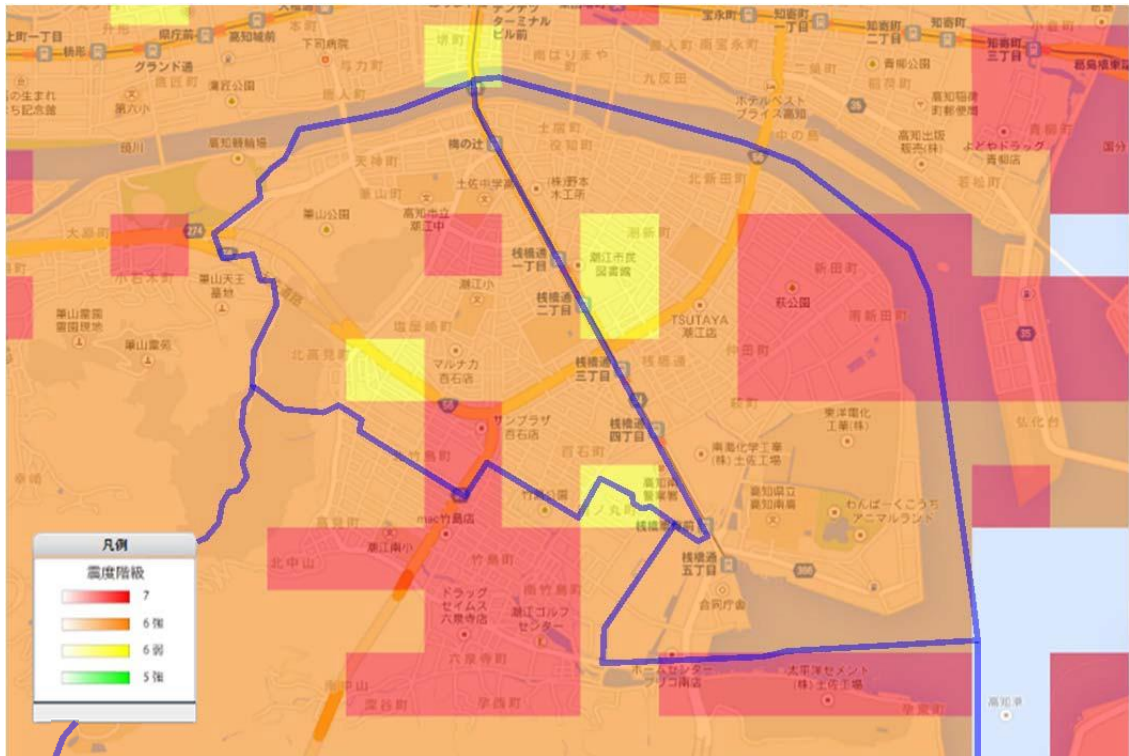


図 10 震度分布図（最大クラスの重ね合わせ）（出典：高知県 HP より）

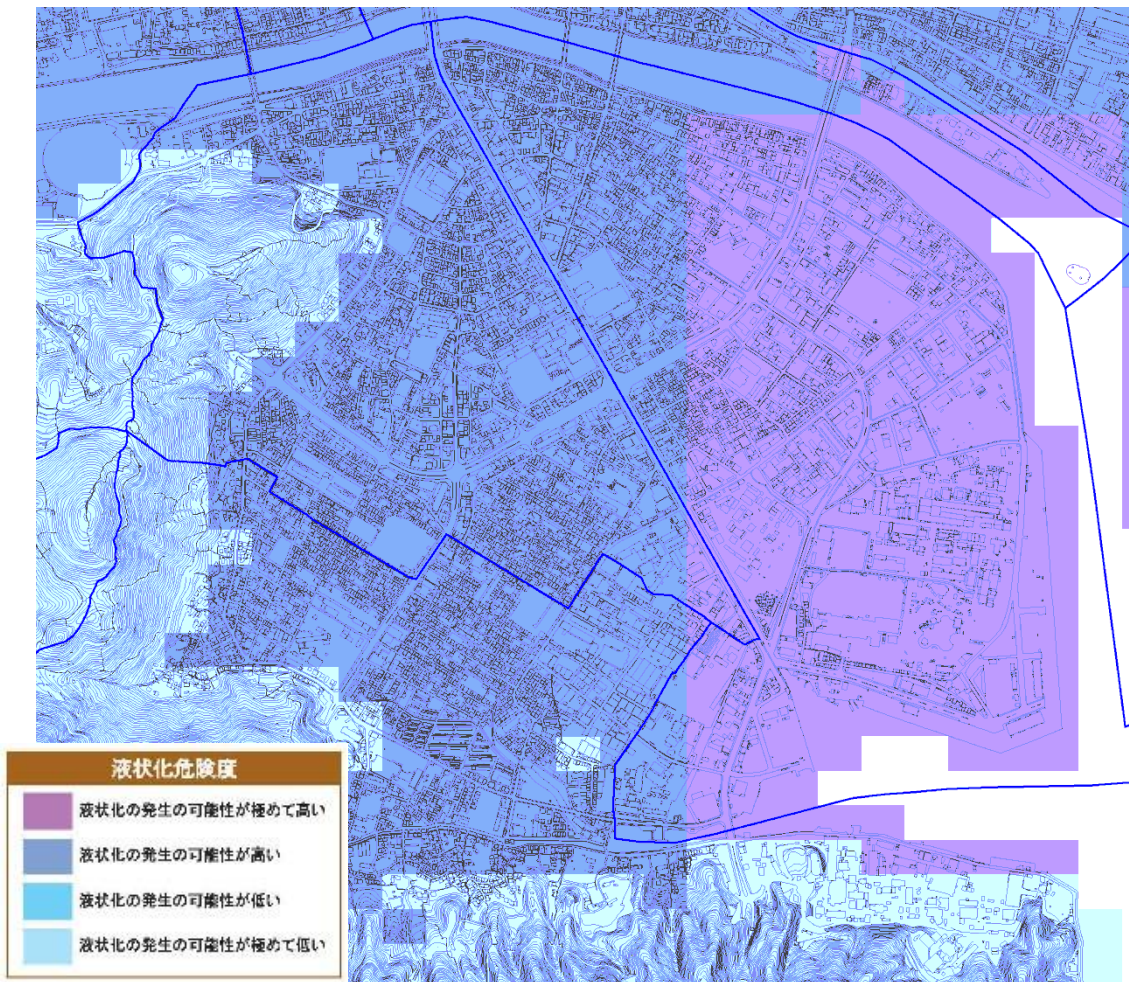


図 11 液状化危険度図（高知市地震ハザードマップ平成 23 年 5 月）

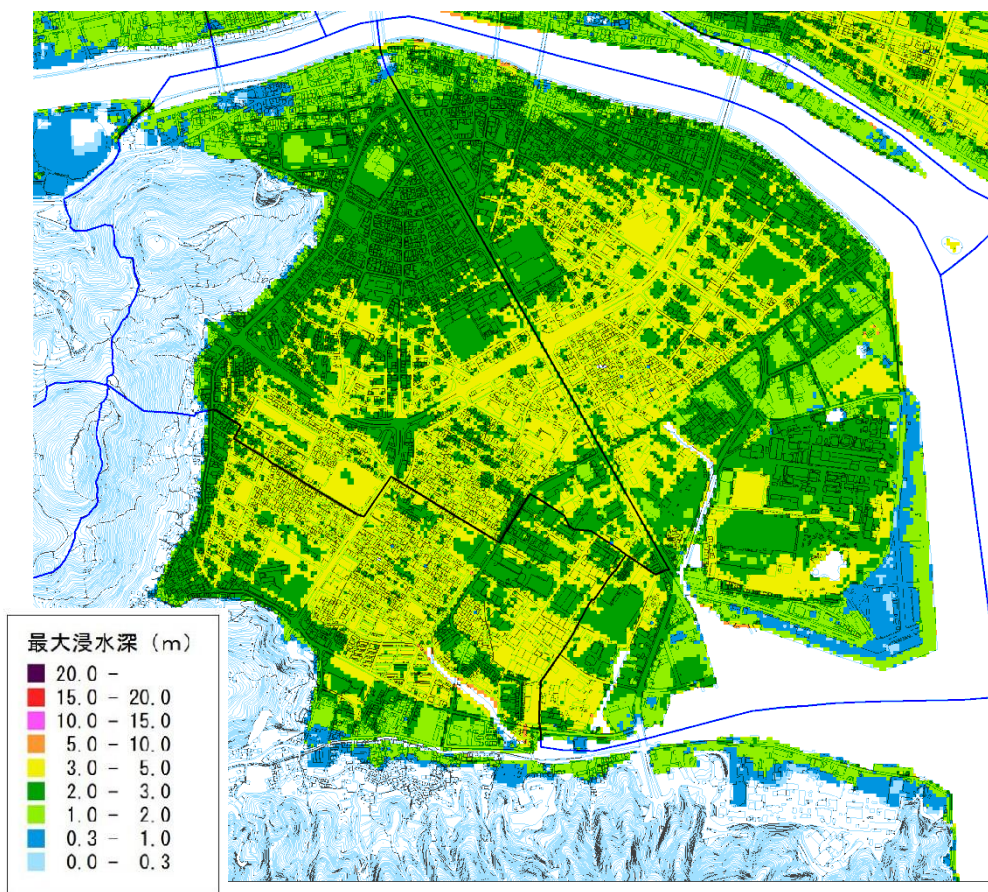


図 12 津波浸水予測図

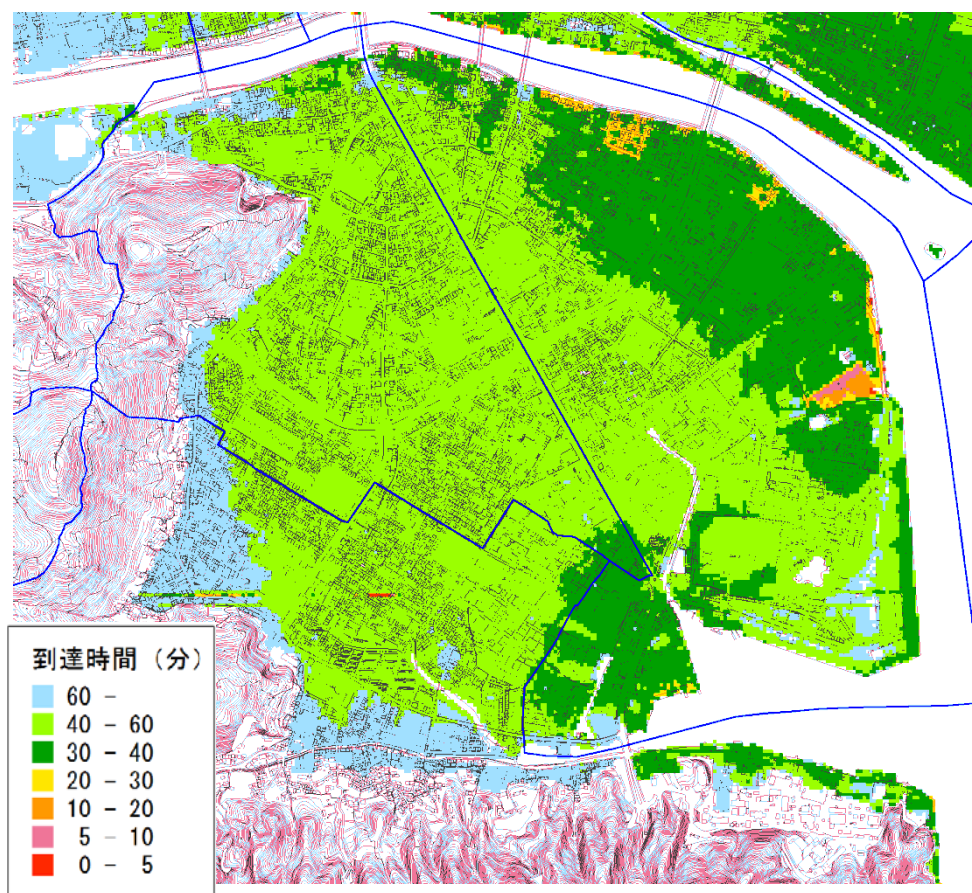


図 13 津波浸水予測時間図

第4章 潮江東小学校区の概要

第1節 地形・地質的な特徴

潮江地区は、図15に示すように、河川や海岸の堆積作用によって形成された低地に盛土し、市街地が形成されています。

潮江東小学校区の避難行動に影響を与える地形・地質的な特徴は以下のとおりです。

地形・地質的な特徴	避難の際の留意点
海拔0～2m程度の低地が地区の大部分を占める	地盤変動（沈下）による浸水の長期化
平坦地は、河川・海岸の堆積作用によって形成された地盤である	液状化のおそれ
西側、南側に自然地形の高台を有する	高台まで逃げ切れない地区がある
西側斜面（筆山、皿ヶ峰）は、急傾斜地であり、高台への上がり口が限定される。斜面は落石等のおそれがある	複数の上がり口や緊急避難場所となる広場を事前に確認する ヘルメットを携行する
南側斜面（宇津野山）は、過去に土砂災害（土石流）が多く発生している	扇状地地形により避難路の勾配が緩く、高台の緊急避難場所へのアクセスは容易であるが、急斜面に近づくと土砂災害のおそれがある

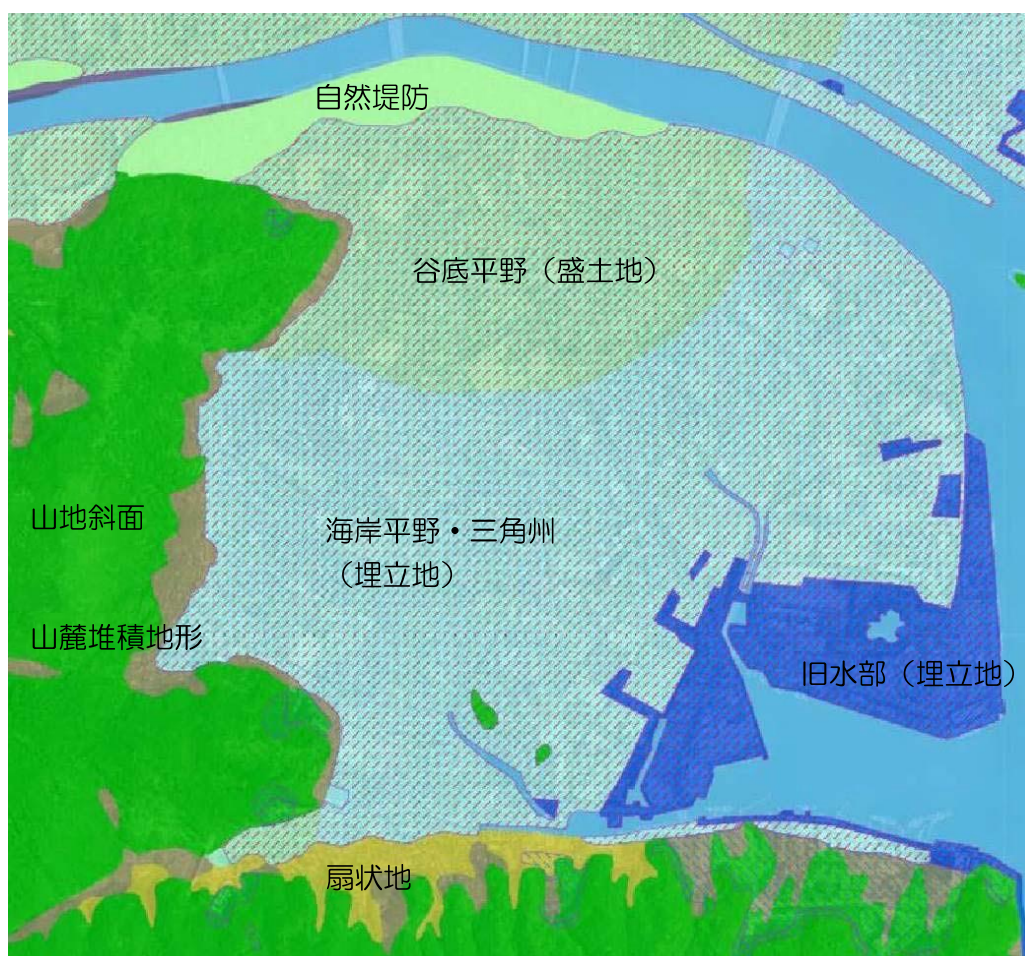


図15 潮江地区の地形の成り立ち
（国土地理院 数値地図25000（土地条件）を基に作成）

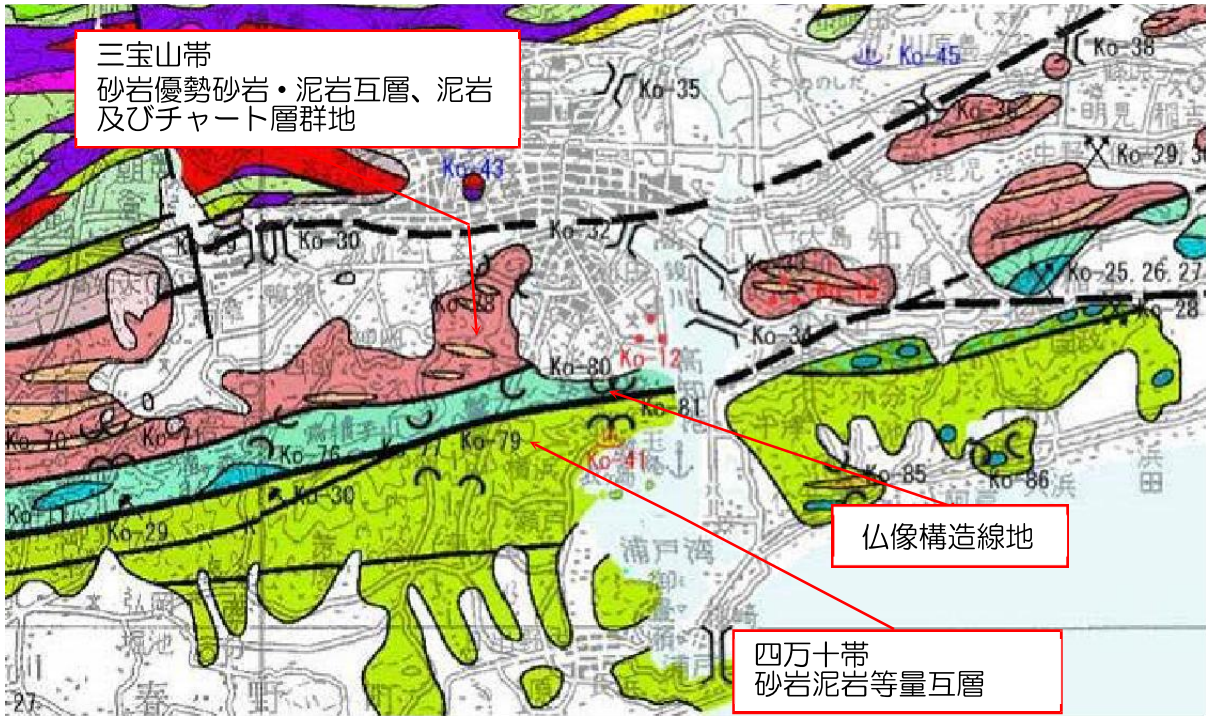


図 16 地質概要図（四国地方土木地質図 (財) 国土技術研究センター)

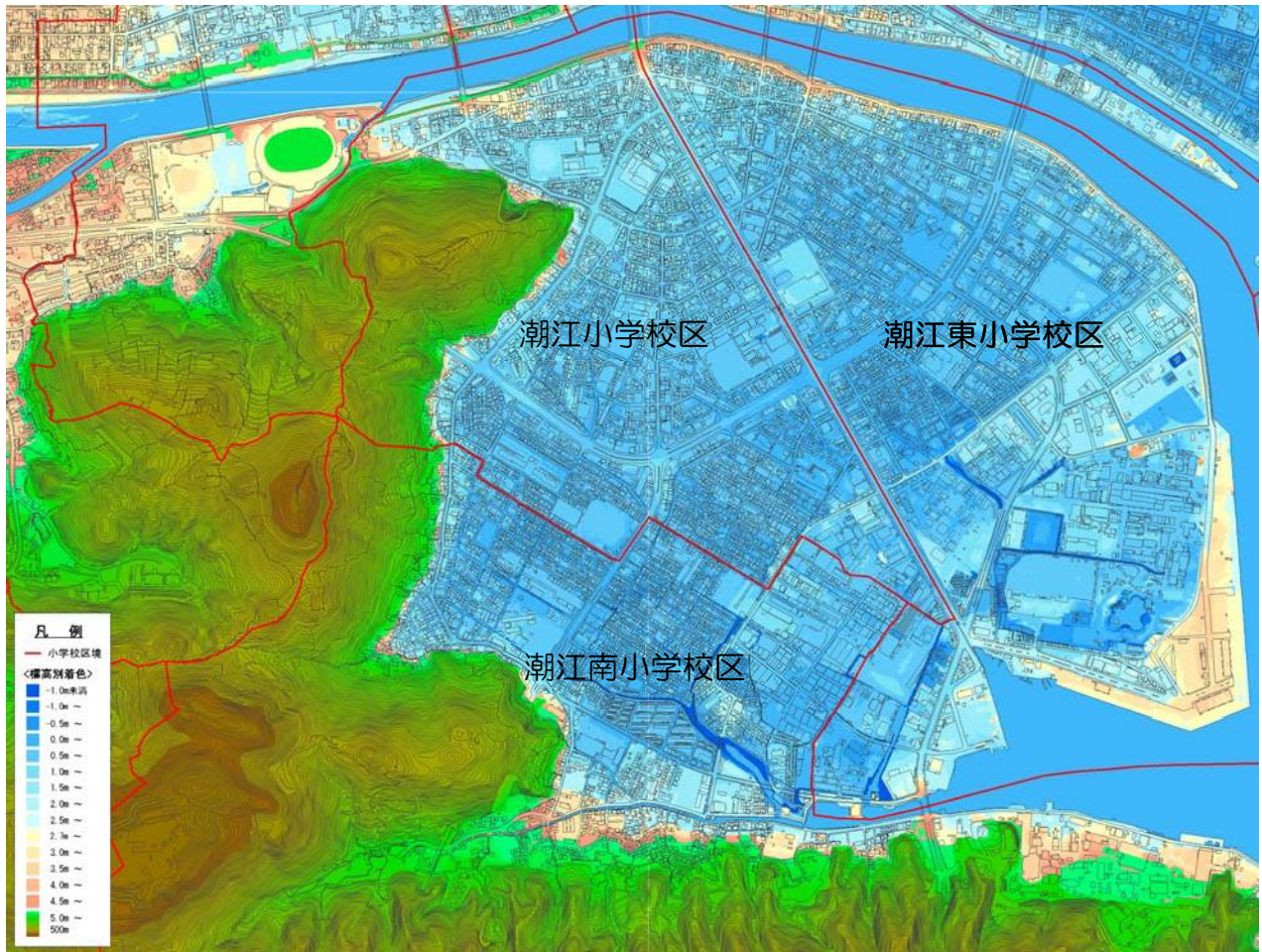


図 17 潮江地区標高図
 (国土地理院「海岸における3D電子地図」に関する資料を基に作成)



図 18 潮江地区の地形・環境図

第2節 社会環境

潮江東小学校区の避難行動に影響を与える社会環境的な特徴は以下のとおりです。

社会環境の特徴	避難の際の留意点
<p><u>昼間と夜間では、人口分布が異なり、夜間の人口が多い</u> 昼間は、学校や事業所等に多くの人口が集まっている</p>	<p><u>この計画書では、人口、移動距離、避難速度の低下などを考慮し、夜間を想定する</u> ただし、昼間の避難行動は、滞留人口が夜間と大きく異なることから、今後の検討を要する</p>
<p>夜間人口は7,483名、世帯数4,392世帯、高齢化率は28.9%と高い（令和6年4月1日現在） 早くから市街地が形成された棧橋通り北部で特に高齢化率が高い</p>	<p>高齢者を含めた幅広い年齢層の避難行動を想定する</p>
<p>水際は、河川区域・港湾区域の堤防、護岸が設置されている</p>	<p>耐震性能や、耐震補強の実施について、情報の共有を図る必要がある</p>
<p>津波避難ビルの条件を満たす建物が棧橋通り沿いに集中しており、潮江地区内の他の小学校区に比べて候補となるビルが少ない</p>	<p>地域と行政が協働で津波避難ビル交渉を行うなど、選択肢をできるだけ増やす</p>
<p>高知港の整備とともに古くから工業地帯が形成されている</p>	<p>事業所や工場の安全性や、従業員の避難行動などについて情報を共有する</p>

■時間帯別の人口について

潮江地区では、図19に示すように、夜間と昼間の滞留人口とその分布が大きく異なります。平成19年度〈第3回〉高知都市圏パーソントリップ調査では、都市部（旭、江ノ口・小高坂、高知駅、本町・はりまや、下知北、下知南）のみ、9時以降の滞留人口が増加し、9～15時台は夜間の約1.4倍の滞留人口となります。その他の地域では、夜間人口が多いと発表されています。このため、潮江地区における今回の計画策定では、夜間人口（高知市住民基本台帳（令和2年7月時点））を想定して検討します。また、潮江地区では、夜間に観光客等が多く集まる施設等は立地していないため、この計画では観光客等の人数は想定していません。

昼間は、事業所や学校、工場等に多くの人が集まっている状況が想定され、避難行動は夜間と大きく異なります。今後は、事業所等の事業継続計画（BCP）や津波避難計画と、潮江東小学校区の津波避難計画の調整を図るなど、昼間も含めていつ地震が起こっても適切な避難行動がとれるよう検討を重ねていく必要があります。

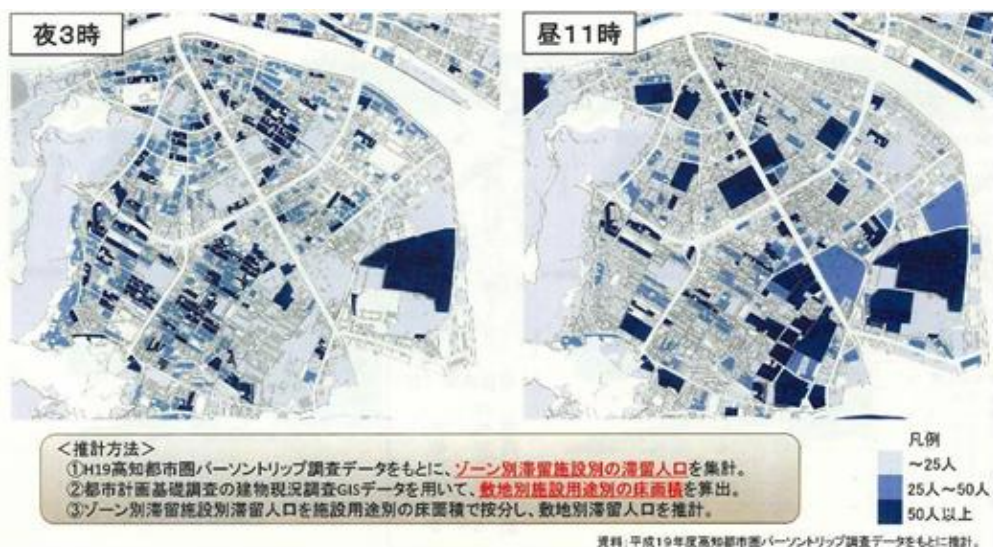


図19 潮江地区における夜間と昼間の滞留人口

■夜間の人口、世帯数、年齢構成

表4 町別の人口、世帯数、年齢構成（令和6年4月1日現在）

町名	人口合計 (人)	世帯数 (世帯)	幼年人口 (人) (15歳未満)	老年人口 (人) (65歳以上)	高齢者率 (%)
梅ノ辻	698	423	57	231	33.1
栈橋通1丁目	744	542	44	267	35.9
栈橋通2丁目	497	250	54	123	24.8
栈橋通3丁目	830	527	47	284	34.2
栈橋通4丁目	1,001	568	73	276	27.6
栈橋通5丁目	238	143	24	92	38.7
栈橋通6丁目	401	234	32	91	22.7
土居町	341	216	15	141	41.4
役知町	671	431	45	213	31.7
潮新町1丁目	1,000	556	91	295	29.5
潮新町2丁目	424	255	38	129	30.4
新田町	775	423	81	193	24.9
北新田町	828	451	87	176	21.3
南新田町	62	33	8	9	14.5
仲田町	628	340	65	151	24.0
萩町1丁目	34	20	2	9	26.5
萩町2丁目	5	3	-	-	-
小学校区の高齢者率→					28.9

出典：高知市総務課調査統計担当

- ※ 各町の人口が少ない場合は、計のみ表示し、内訳は秘匿している。
- ※ 複数の校区に跨る町丁目については、校区外の人口を含むため、校区全体の数値と一致しない。

表5 潮江地区 小・中・高校についての情報

学校名	児童・生徒数 (人)	避難場所としての 収容人数(人)	避難場所	備考
潮江中学校	325	1,921	校舎4階及び屋上	
潮江小学校	257	1,422	中舎及び南舎屋上	
潮江南小学校	243	1,699	北舎4階及び屋上、南舎屋上（コンピュータ室を除く）	
潮江東小学校	223	921	北舎及び南舎屋上	
高知工業高校	868	2,213	1号館、2号館及び3号館の4階教室及び廊下、2号館屋上	生徒数は、全日制と定時制を合計した人数
土佐中学校・高校	1,639	1,736	体育館棟アリーナ	
土佐塾中学校・高校	1,074			

出典 高知市教育委員会学校教育課 令和6年度高知市立学校 学校別児童生徒数・学級数
 高知県教育委員会高等学校課 令和6年度高知県立高等学校 令和6年度高知県立学校生徒数一覧
 高知県私学・大学支援課 令和6年度高知県私立学校名簿

■工場・事業所等の立地状況

潮江地区の南部は、市内でも最も古くから形成された工業地帯であり、多くの事業所や工場が立地しています。

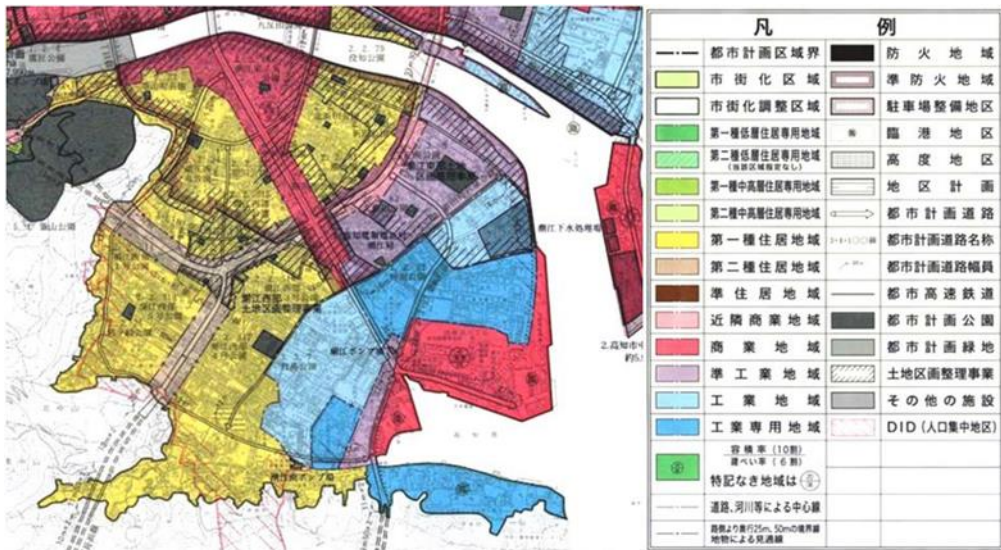


図 20 都市計画図（出典：高知広域都市計画総括図（高知県 平成 22 年 3 月））

■鏡川工業用水道（筆山配水池）

鏡川工業用水道筆山配水池は、筆山の山腹に延長 314m のトンネルをくり抜いて貯水槽（水量約 41,000m³）とし、その入口及び出口に鉄筋コンクリート製の水槽（接合井）を接合させた構造となっています。出口側接合井は、北高見町に位置し、施設付近は緊急避難場所（潮江 12）となっています。この施設については、平成 25 年 11 月に高知県公営企業局電気工水課より耐震診断結果が次ページのように報告され、安全性が確認されています。



図 21 鏡川工業用水道位置図（出典：高知県 HP より）

(耐震診断結果の抜粋)

●耐震診断の方法

最新の指針である「水道施設耐震工法指針・解説 2009 版」(社団法人日本水道協会)に基づき、実際の構造物を忠実に再現した 3 次元解析モデルを作成して、耐震性を確認しました。なお、想定地震動は、新たな想定南海地震(筆山配水池で考えられる最大級の地震、レベル 2)としています。

●結果

新たな想定南海地震に対して「安全」であることを確認しました。なお、トンネル(貯水槽)については、硬い岩盤に築造されており、耐震性があると考えています。

■水際構造物の状況

潮江地区は、鏡川河口部に位置し、高知県が管理する(河川区域及び港湾区域)河川堤防、護岸が整備されています。避難可能時間を確保するため、堤防等の耐震対策について、関係機関に対する情報共有や必要な対策の実施を要望します。

- ① 鏡川右岸堤防は、天神大橋から潮江橋までの区間は旧堤防をもとに整備されたと考えられる構造で、土堤となっている。
- ② 潮江橋から鏡川大橋下流までの堤防は、コンクリート護岸として整備されている。
- ③ 南新田町から南部については、コンクリート擁壁護岸となり、工場が立地する区間からは港湾区域となりコンクリート直立護岸が整備されている。
- ④ 土佐電鉄の棧橋電停付近から孕橋にかけての護岸は、南新田町付近と同様に堤体のないコンクリート擁壁である。



①鏡川右岸(土堤)の状況



②潮江橋下流の状況

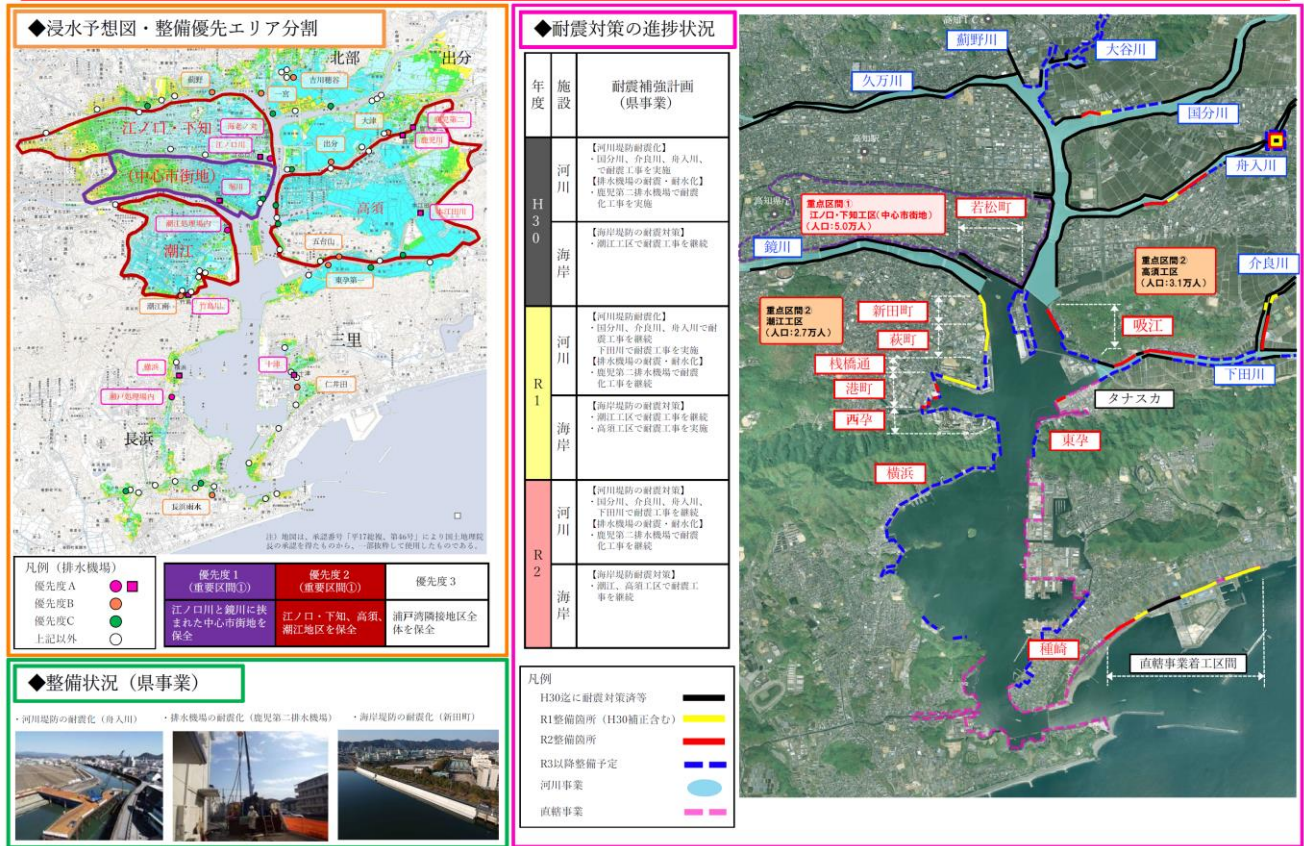


③鏡川大橋下流の状況



④孕橋より上流側の状況

潮江地区では、広域地盤変動と耐震化されていない堤防の沈下によって、津波による浸水が長期間に及ぶことが想定されています。長期浸水に対する河川・海岸堤防の耐震補強の取組を図 22 に示します



※レベル1では津波の侵入を防ぐ(防災)、レベル2では避難時間を稼ぐ(減災)を目指し整備
(出典：第22回高知県・高知市南海トラフ地震対策連携会議について(令和2年11月20日開催) 参考資料)

図 22 河川・海岸堤防耐震補強の取組 (令和2年11月現在)

第5章 潮江東小学校区の津波避難の考え方

第1節 避難行動の考え方

津波からの避難は、できるだけ早く、少しでも高いところへ逃げることが基本となります。地震発生時は、建物被害等による逃げ遅れや、道路被害等による避難速度の低下など、様々な状況が想定されます。複数の選択肢からより安全な避難行動を行うためには、事前に複数の緊急避難場所を検討しておくことが重要です。

潮江東小学校区内の緊急避難場所は、筆山などの自然地形の高台と、市が指定した津波避難ビル（以下、津波避難ビル）があります。逃げ遅れた場合には、最後の手段として指定されたビル以外の建物など、少しでも高いところへ逃げる必要があります。これらの選択肢について、表6に整理しています。

また、潮江地区では広域的な地盤変動により地盤が沈下し、浸水が長期化するおそれがあります。筆山などの自然地形の高台への避難は、長期浸水による孤立者を減らす対策にも繋がることから、高知市では緊急避難場所を選定する優先度として以下のように推奨しています。

1 できるだけ自然地形の高台へ

2 高台まで逃げられない方、逃げ遅れた場合は津波避難ビルへ

避難の際の移動手段は、徒歩を基本とします。

表6 緊急避難場所の長所・短所

優先度	緊急避難場所	メリット	デメリット
1	自然地形の高台	<ul style="list-style-type: none">避難可能人数の制限がない長期浸水時でも山伝いにさらなる避難が可能	<ul style="list-style-type: none">地震による土砂災害の影響がある（本震・余震）雨、風の影響を受ける避難移動距離がやや長くなる
2	指定避難所を兼ねる津波避難ビル	津波避難ビルのメリットに加えて、 <ul style="list-style-type: none">一定期間避難生活を送ることがあらかじめ想定されている収容人数が比較的多い	<ul style="list-style-type: none">長期浸水時に自力での移動が困難
3	津波避難ビル	<ul style="list-style-type: none">避難移動距離が最も短くなるケースが多い	<ul style="list-style-type: none">収容人数（スペース）に制限がある地震により施設が被害を受ける可能性がある長期浸水時に自力での移動が困難

【避難所・緊急避難場所の定義】

●避難所とは

災害によって自宅が全壊した場合や水や電気などが使用できない場合に、一定期間生活を送る建物等のことです。その中で、市が指定した避難所を「指定避難所」と言い、小・中学校などを中心に 277 箇所の避難所を指定しています（令和 5 年 11 月 1 日現在）。

●緊急避難場所とは

津波や火災などから一時的に避難し、身の安全を確保するための自然地形の高台や津波避難ビルなどを言います。この計画書では、津波からの避難場所のみを扱います。

緊急避難場所を選定するにあたっては、津波浸水の予測時間や浸水の方向、緊急避難場所までの距離などを考慮する必要があります。潮江中学校区内で想定される津波遡上と避難行動の方向を図 23 に示しています。

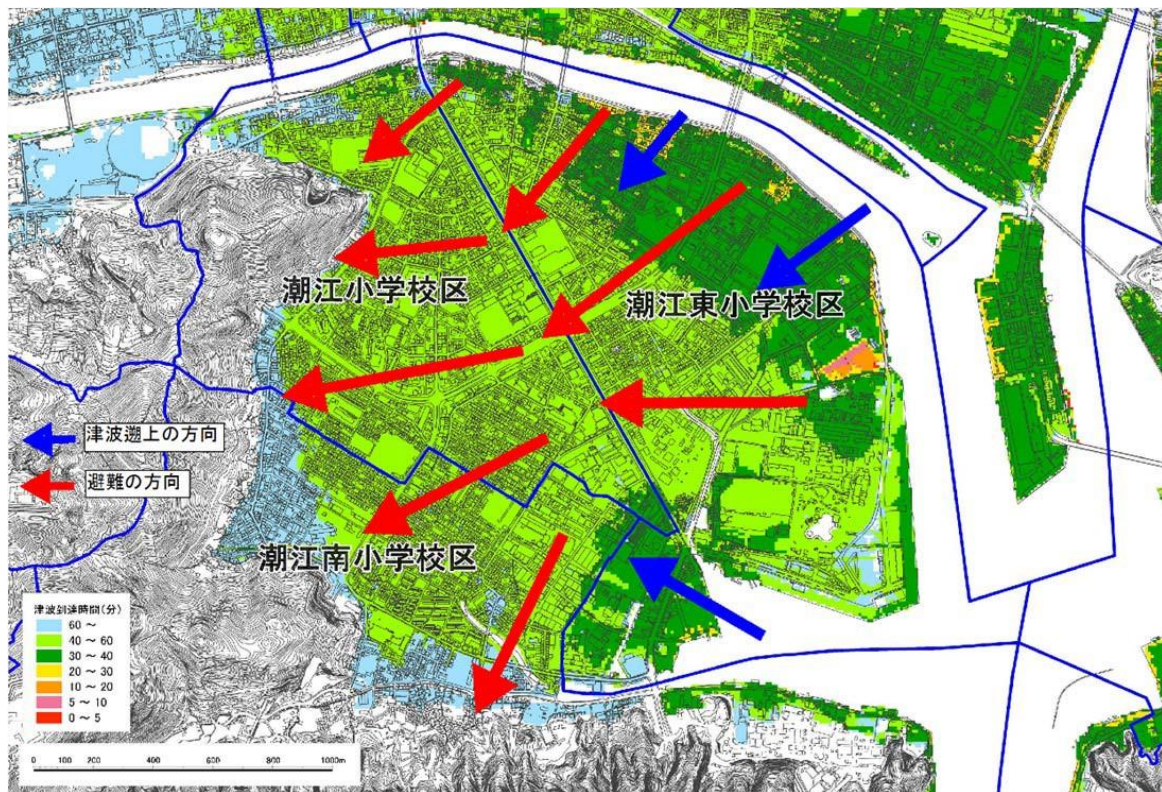


図 23 潮江中学校区で想定される津波遡上と避難行動の方向

避難可能範囲は、以下を目安とします

■自然地形の高台への避難 避難開始までに

必要な時間 $A=10$ 分

津波浸水予測時間 $B=40$ 分

高台までの移動時間 5分

避難可能時間 $C=25$ 分

避難速度 0.6 (m/秒)

移動可能距離 $L=0.6 \times 25 \times 60=900$ m

移動可能範囲の円(半径) $R=900/1.5=600$ m

(自然地形の高台までの避難可能範囲を目安として直線距離 500 mのラインを避難行動支援マップに記載)

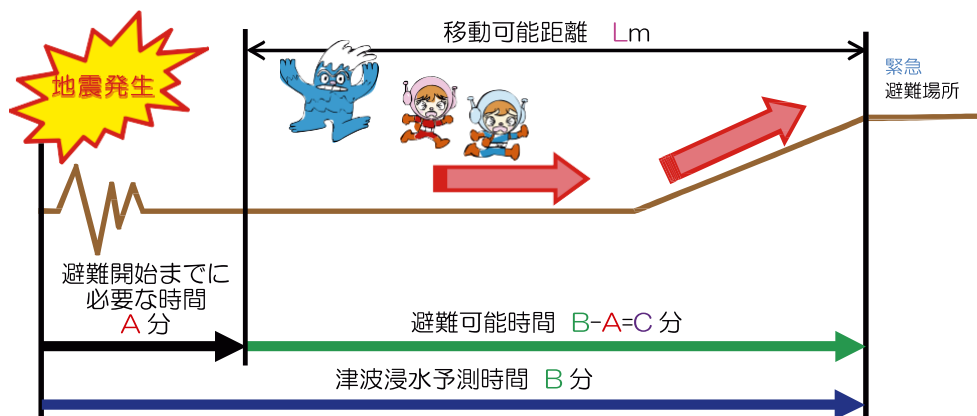


図 24 自然地形の高台への避難 (出典：地域津波避難計画点検マニュアル (平成 25 年 12 月 高知県))

■避難ビル等への避難

避難開始までに必要な時間 $A=10$ 分

津波浸水予測時間 $B=30$ 分

ビル等への垂直避難 $D=5$ 分

避難可能時間 $C=15$ 分

避難速度 0.6 (m/秒)

移動可能距離 $L=0.6 \times 15 \times 60=540$ m

移動可能範囲の円(半径) $R=540/1.5=360$ m

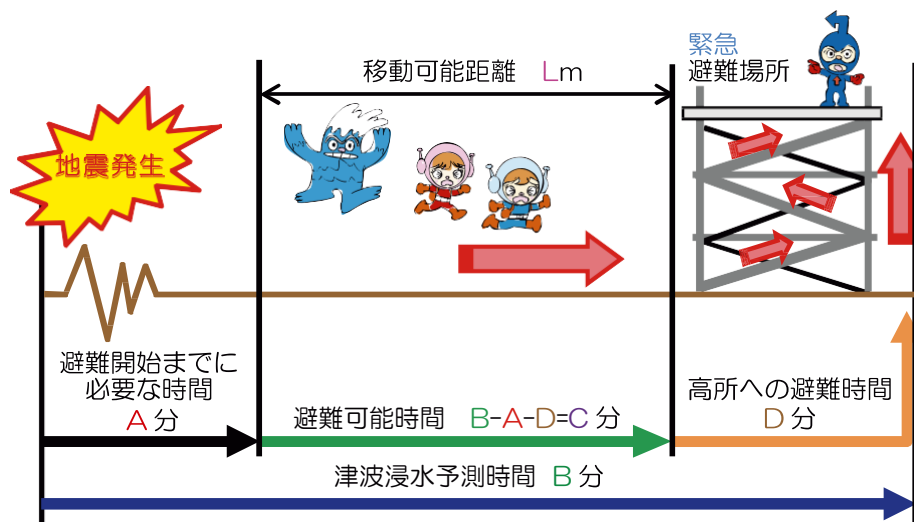


図 25 避難ビル等への避難 (出典：地域津波避難計画点検マニュアル (平成 25 年 12 月 高知県))

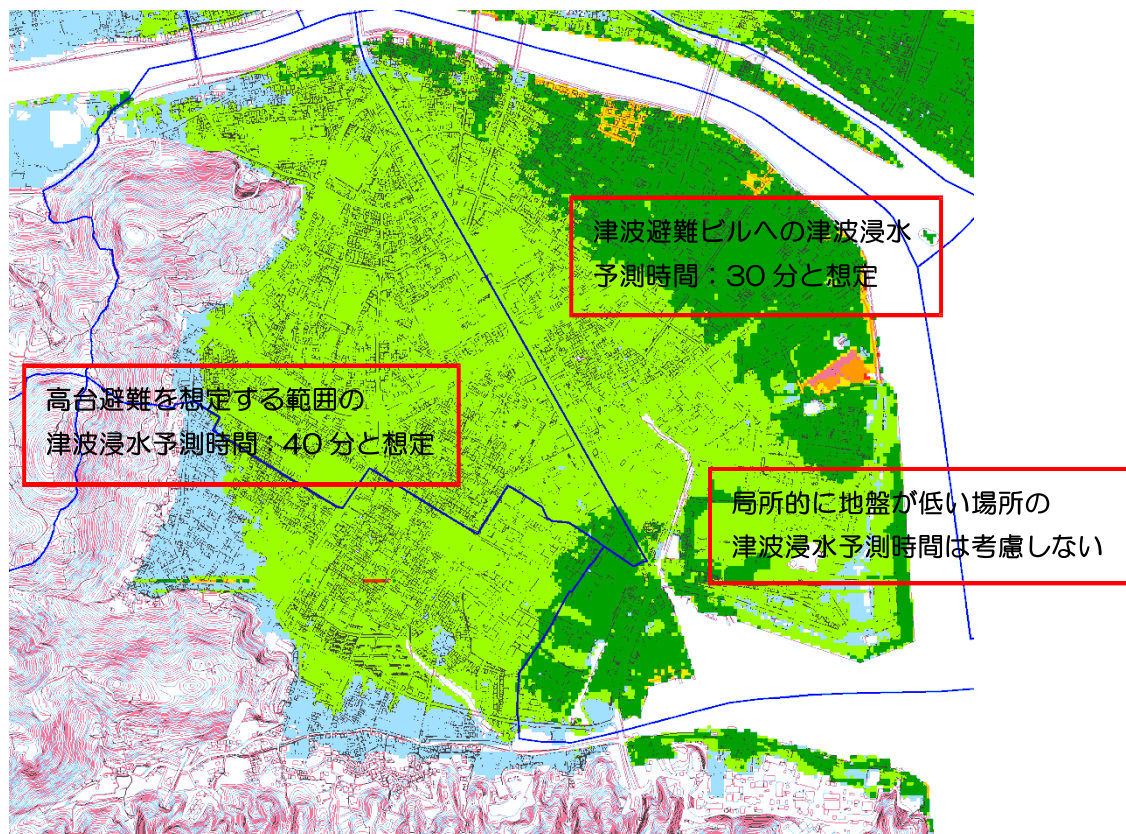


図 26 津波浸水予測時間の設定

第2節 緊急避難場所

(1) 自然地形の高台

平成24年度に実施した潮江小学校区・潮江南小学校区津波避難路整備方針検討会などで検討した箇所を基本として津波避難経路の整備を進めてきました。平成26年度に作成し、令和元年度版に改訂された「潮江・潮江南・潮江東小学校区津波避難マップ」で自然地形の高台や津波避難ビルの場所を確認することができます。令和2年度時点での緊急避難場所の入口や津波避難経路の状況を巻末資料に添付します。

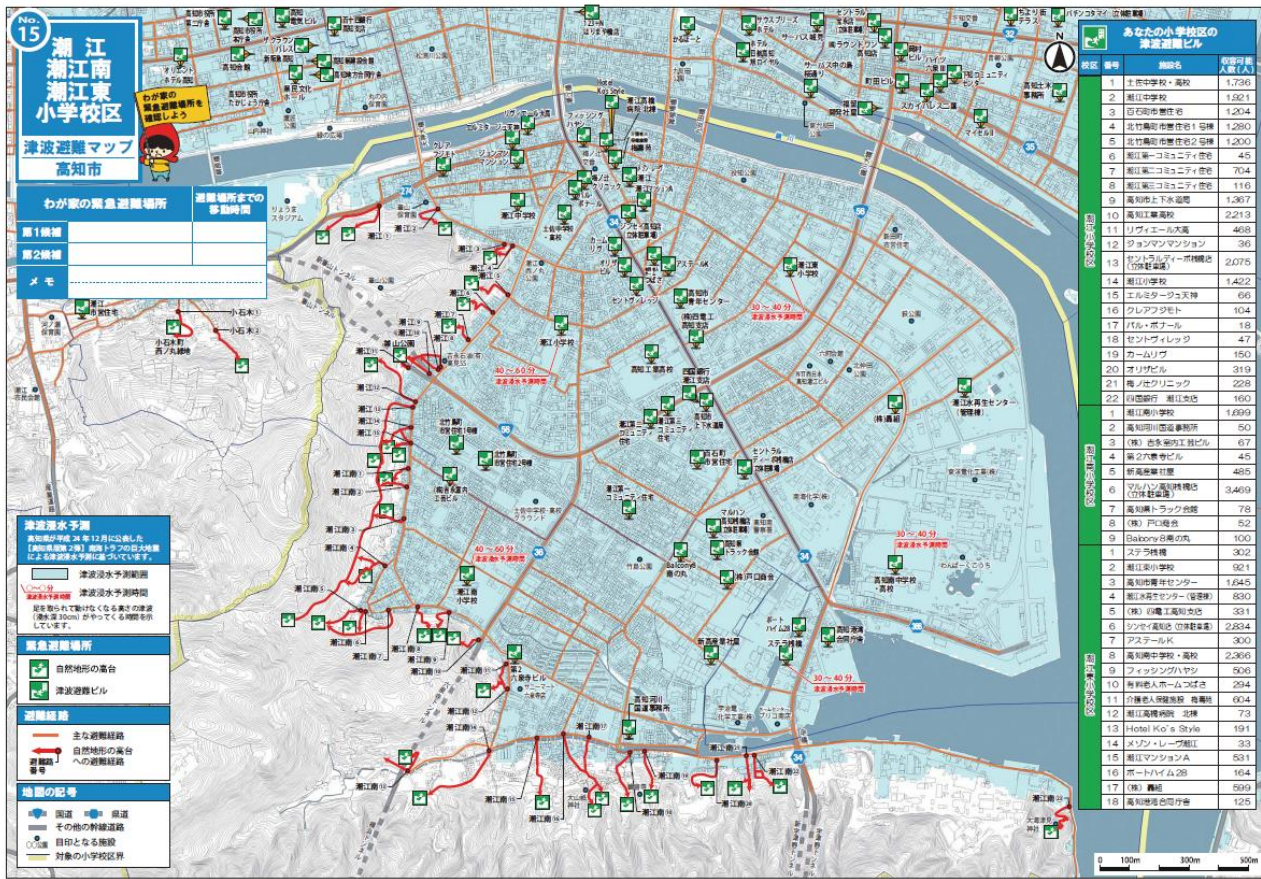


図 27 潮江・潮江南・潮江東小学校区津波避難マップ（令和元年12月改訂版）

津波避難マップは高知市地域防災推進課のホームページからダウンロードすることができます。

【潮江・潮江南・潮江東小学校区津波避難マップ】

高知市 HP : <https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/koutisitunamihinan-map.html>

(2) 津波避難ビル

高知市では、以下のような条件を満たす建物で、所有者やお住まいの方々の同意を得て協定を締結した建物を、津波避難ビルとして指定しています。平成 25 年度は、潮江東小学校区津波避難計画に係る検討会等を通じて、潮江東地区連合防災会が主体となって、候補ビルへの交渉を行いました。

【津波避難ビル指定の条件】

- ① 昭和 56 年 6 月以降に新耐震基準で施工された建物、あるいはそれ以前の建築でも既に耐震改修を行っている建物
- ② 原則として鉄筋コンクリート造または鉄骨鉄筋コンクリート造の建物
※ ただし、津波浸水想定、地域の状況等によっては鉄骨造他の建物も認めることができる。
- ③ 3階以上の建物で、3階の屋上あるいは4階以上の高さの避難スペースがある建物
※ ただし、津波避難可能区域の外にある区域等、特別な事情がある場合は、津波浸水深から 3m以上の高さに避難場所が確保できる建物についても対象とすることができる。
- ④ 365 日 24 時間、避難が可能である建物
- ⑤ 津波に対して一定の安全性が確認できた建物

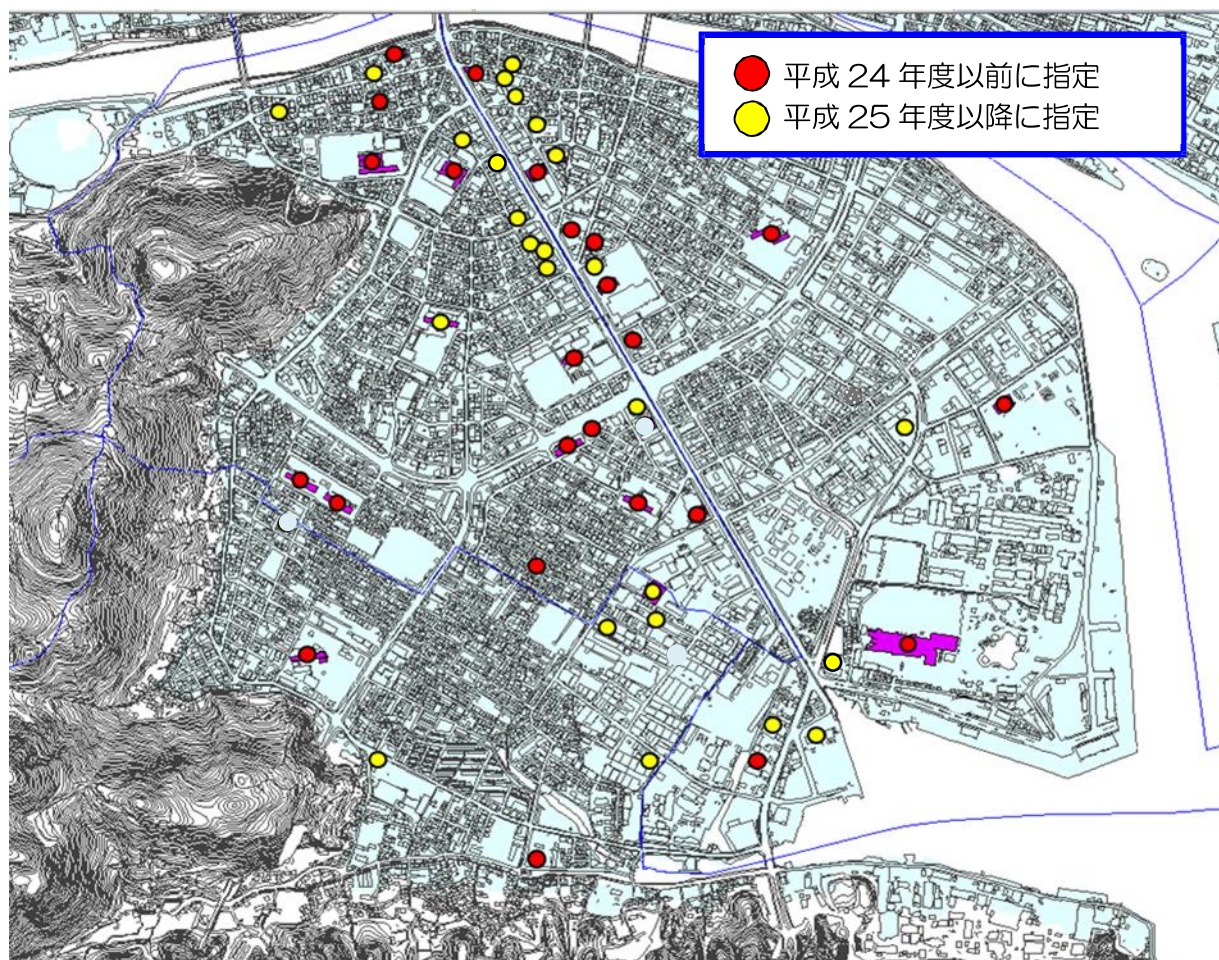


図 28 潮江地区の津波避難ビル指定状況（令和 7 年 2 月現在）

高知市では地域防災推進課のホームページで津波避難ビルの個票を公開しています。個票には施設の概要や施設側からの注意事項、津波避難ビルへの進入方法や避難する場所などの情報が記載されています。日頃から、近隣の津波避難ビルの情報を確認しておきましょう。

潮江東小学校

高知市津波避難ビル No. 潮江東3

施設の概要	
所在地	高知市潮新町2丁目1-54
施設種類	学校
大 街	潮江
小学校区	潮江東 小学校区
収容可能人数	屋上：921人
(1人/m ² ※)	：人
避難場所	北倉および南倉屋上
構造・階層	鉄筋コンクリート造 3階建
避難専用階等の問い合わせ先	088-833-1208

設置している資機材	
設置場所	北倉・南倉
ポート	1 トイレ処理機 218
救命圈水	4 アルミシート 1,451
ヘルメット	4
ロープ	1
簡易トイレ	44 飲料水 147
テント	44

津波避難ビルへの進入方法、避難する場所など

高知市津波避難ビル No. 潮江東3

津波避難ビルへの進入方法、避難する場所など

屋上

外階段

図 29 津波避難ビル個票の一例（潮江東小学校）

【津波避難ビル一覧】
 高知市 HP： <https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/tunamihinannbiru.html>

「津波避難ビル」指定事業にご協力ください

東日本大震災では、津波によって、標高の低い地域を中心に甚大な被害を受け、一部の地域では地盤沈降に伴う浸水によって、一時的に孤立した場所が発生しました。高知市中心部にも、標高が低いことに加えて、自然の高台が遠いことから避難が困難で、地盤沈降に伴う浸水によって孤立化する危険性のある地域が存在します。

こうした地域におられる方々の命を守るためには、丈夫で高層な建物の所有者の皆様には、周辺住民の一時的な避難についてご協力をお願いいたたく存じます。

また、地盤沈降の状況によっては、しばらくの間浸水が解消しない事も考えられることから、こうした状況になった場合を想定した資機材の提供も行いますので、ご検討のほど宜しくお願いいたします。



甚大な津波被害があった南三陸町で
町民の命を守った住宅



津波浸水後、地盤沈降により周辺が浸水
した石巻市内の住宅

《津波避難ビル指定後の支援》

- ①:簡易トイレを支給します(簡易トイレ本体、パーソナルテント、処理剤)
※低層階にお住まいの方で被災された方や周辺住民で避難されて来られた方が建物を汚すことなく用を足せる環境をつくれます。また、断水等でトイレが使用できない場合、上層階にお住まいの方もご活用頂くことができます。
- ②:強化ゴムボートを支給します(ゴムボート、救命胴衣、ヘルメット、ロープ)
※ 浸水後水が引かない場合に用いる最低限の移動連絡手段を確保するため、4人乗りゴムボートを配置します。
(ただし、使用の際、絶対の安全を保証するものではありません)
- ③:より早期な救助・救出のため、関係機関に対して事前周知します
※ 津波被災後の救助活動を円滑に行うために、避難ビルとして指定が完了した施設を関係機関に対して周知し、円滑な救助・救出ができるよう体制を整えます。

☆市民に周知する避難場所は、所有者の皆様にご迷惑をおかけしないよう、基本的に廊下やエレベータホール等の共用部分のみといたします。

(3) 緊急避難場所一覧

各自主防災組織ごとに選択肢として想定している緊急避難場所は表7のとおりです。この表は、平成25年度に行った検討会等で確認した、避難の意向等を取りまとめたものです。避難先が重複した箇所では、避難者の集中による混雑が生じるおそれがあります。今後は、避難先を共有する自主防災組織で合同の訓練を行うなど、課題解決に向けた取組を継続する必要があります。

潮江東小学校区の緊急避難場所一覧は、巻末に添付します。

表7 潮江東小学校区の選択肢として想定している緊急避難場所一覧

自主防災組織名	避難先 (主要な避難先は◎)	人口合計 (人)	世帯数 (世帯)	幼年人口 (人) (15歳未満)	老年人口 (人) (65歳以上)	高齢者率 (%)
梅ノ辻町防災会	高台避難場所(潮江1~5) 潮江中学校 土佐高等学校 ◎フィッシングハマシ ◎シンセイ高知店駐車場	284	189	24	74	26.1
アルファステイツ梅ノ辻防災会	高台避難場所(潮江1~5) 潮江中学校 土佐高等学校 シンセイ高知店駐車場	160	81	22	18	11.3
土居町北町内会防災部会	◎高台避難場所(潮江1~5) 潮江中学校 土佐高等学校	213	115	16	74	34.7
土居町南防災会	◎高台避難場所(潮江1~5) ◎Hotel Ko's Style 介護老人保健施設 梅園苑 シンセイ高知店駐車場	226	128	21	89	39.4
役所西自主防災会	◎有料老人ホームつばさ ◎アスパル高知 ◎潮江マンションA 潮江中学校 土佐高等学校 シンセイ高知店駐車場 介護老人保健施設 梅園苑	300	197	16	98	32.7
梅園通1丁目車町内会防災会	高台避難場所(潮江1~5) 潮江中学校 土佐高等学校 潮江マンションA ◎シンセイ高知店駐車場 有料老人ホームつばさ ◎アスパル高知	510	356	53	123	24.1
役所車町内会防災会	シンセイ高知店駐車場 潮江マンションA 潮江車小学校	484	262	55	123	25.4
朝新町1丁目自主防災会	◎アスパル高知 シンセイ高知店駐車場 絹川ビル5(※1) 潮江マンションA ◎潮江車小学校	1199	617	146	299	4.9
朝新町2丁目自主防災組織	◎アスパル高知 ◎潮江車小学校 株式会社四職工高知支店	455	242	68	90	19.8
中田・萩町自主防災会	◎潮江下水処理場管理塔(※2) セントラルティール高知店 潮江車小学校	748	357	140	123	16.4
浅三車町内防災会	◎高知市水道局庁舎(※6) 高知工業高等学校 アスパル高知	638	371	67	202	31.7
アルファステイツ浅三自主防災会	高知市水道局庁舎(※6) 高知工業高等学校 アスパル高知	177	80	29	18	10.2
港運合会自主防災組織	潮江車小学校 ◎高知南中学校・高等学校(※3) ポートハイム28 ◎ステラ高知 マルハン高知高知店 高知県トラック会館 戸口商会(※4) ミニバック株式会社高知潮江工場(※5) セントラルティール高知店 高台避難場所(潮江南20~22)	929	510	127	196	21.1
梅園通6丁目朝町防災会	◎高知南中学校・高等学校(※3) 高知県赤十字血液センター(※4)	444	238	68	76	17.1
その他(北新田・新田町・南新田)	潮江車小学校 潮江下水処理場管理塔(※2)	1843	850	322	265	14.4
その他(梅園通2丁目車)	高知市水道局庁舎(※6) 株式会社四職工高知支店 高知工業高等学校 アスパル高知	301	121	60	45	15.0
その他(梅園通4丁目車)	セントラルティール高知店 百石町市営住宅 マルハン高知高知店	540	277	94	82	15.2
小学校区の高齢者率一						22.3

(※1) 現在は「アステールK」。 (※2) 現在は「潮江水再生センター(管理棟)」。
 (※3) 現在は「旧高知南中学校・高等学校」。 (※4) 現在は津波避難ビル指定解除済み。
 (※5) 現在は「新高産業社屋」。 (※6) 現在は津波避難ビル指定解除済み。
 (令和7年2月現在)

第3節 避難困難地域の検討

津波が到達するまでに避難が困難となるおそれがある地区を把握することを目的に、図30に示す検討図を作成しました。この結果、令和7年2月現在の津波避難ビルを考慮した場合は、潮江東小学校区の一部に避難困難となるおそれがある地域が見られます。潮江地区全体の津波避難ビルは、平成26年度以降7箇所が新規指定され、50箇所となっています（令和7年2月現在）が、当該地域においては令和7年2月現在においても津波避難ビルの指定がなく、避難困難地域が解消されていません。地域内には津波避難ビルの要件を満たすビルが存在するため、今後も指定に向けての取組を重点的に進める必要があります。

また、この図は以下の条件を仮定して、机上で検討した結果であるため、図上では避難可能であっても油断することなく、訓練等を継続しましょう。

■設定条件等

- 夜間の人口分布を基に検討したものです。
- 高台まで避難可能な距離の目安として浸水想定区域の末端から直線距離500mのライン（点線）を表示しています。
- 津波避難ビルへの避難可能距離は、階段の昇り時間等を考慮し360mを目安としています。
- 避難可能距離は、歩行速度を0.6m/秒と仮定しています。これは、成人男性が通常歩く速度の約半分程度の速度です。
- 高台の緊急避難場所は、収容人数を設定していません。
- 津波避難ビルは、避難場所1㎡あたり1人として収容人数を設定しています。
- 昼間の場合は、学校等に生徒が避難することや、人口分布が大きく異なるため、今後検討が必要です。

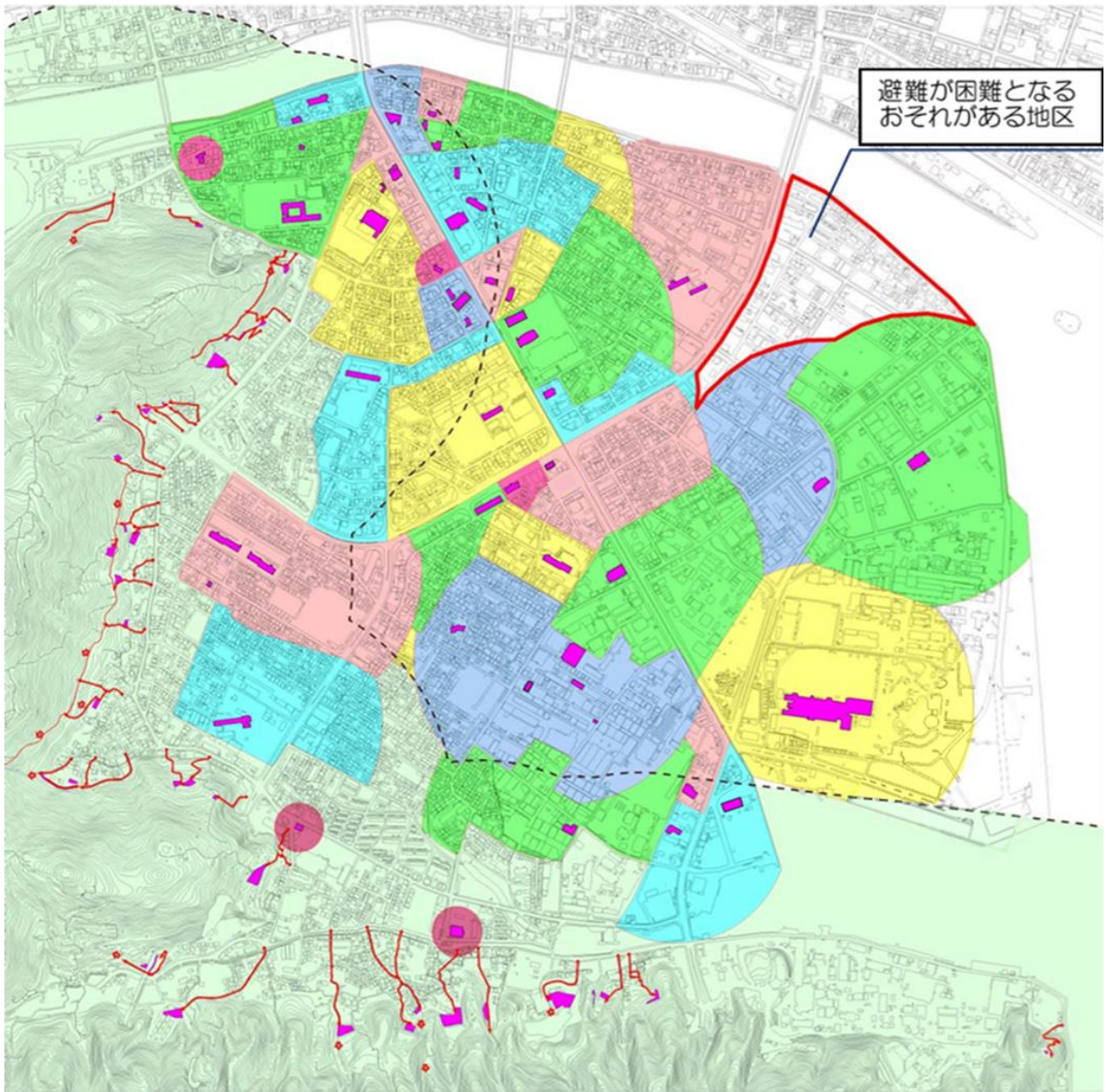


図 30 避難困難地域の検討図（令和7年2月現在の津波避難ビルを考慮した場合）

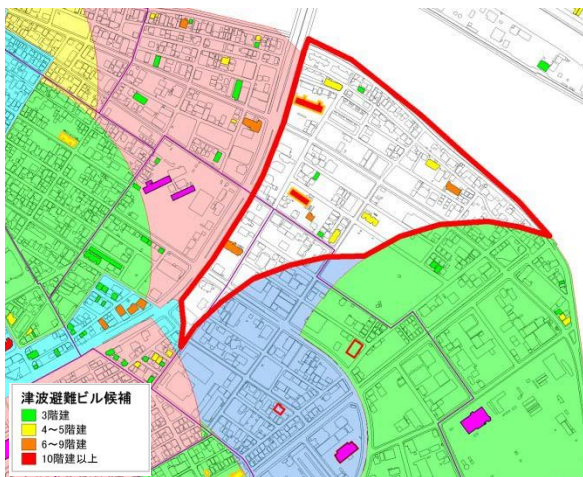


図 31 候補ビルの状況

第4節 津波避難経路

地区内の人家から緊急避難場所に至る全ての経路を津波避難経路とします。そのなかで、避難行動が集中する主要な津波避難経路として以下のような経路を選定し、津波避難行動支援マップに記載します。主要な津波避難経路において、道路が閉塞するなど避難行動に影響を及ぼす課題は、解決に向けて重点的に取り組みます。

【主要な津波避難経路の選定】

- 緊急避難場所への最短経路
- 津波遡上方向へ向かわない
- 道路幅員6m以上（目安）の広い道路
- 閉塞等のリスクが少ない経路

主要な津波避難経路に至る地区内の経路については、避難方向を矢印で図示し、避難方向がわかりやすいよう工夫します。

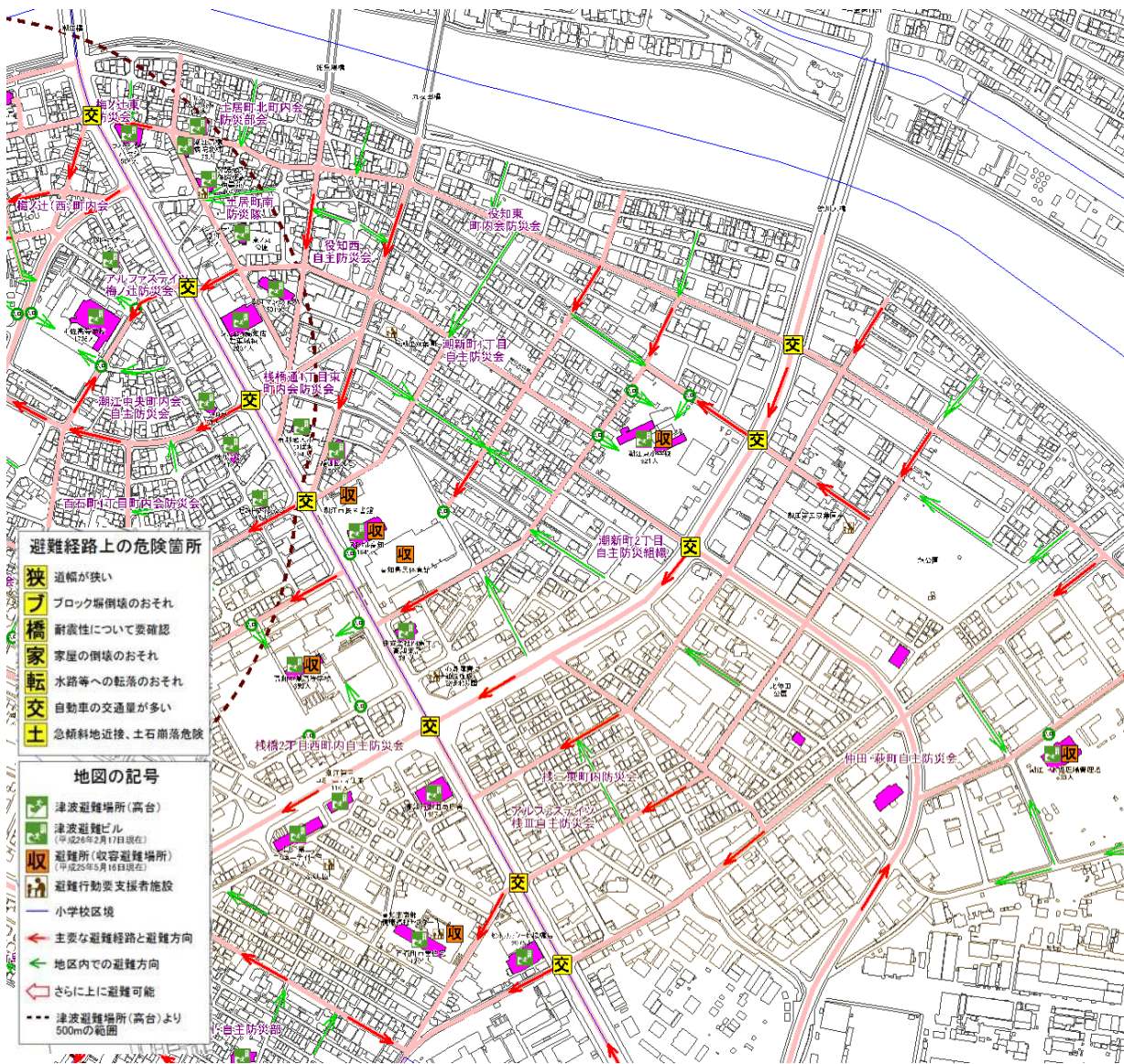


図 32 主要な津波避難経路の選定

※高知市上下水道局については津波避難ビル指定解除済み(令和7年2月現在)

第6章 潮江東小学校区の津波避難における課題と取組

第1節 避難行動の課題

今回の計画における前提条件（津波浸水予測時間、避難開始時間、避難速度等）で、小学校区内の一部で避難困難となるおそれがある地域が残っています。この地域には津波避難ビルの候補となる建物が複数あるため、指定に向けて重点的に取組む必要があります。これ以外の地区でも、揺れによる被災状況等によって逃げ遅れるおそれがあり、決して油断できません。

今回の計画策定では、ワークショップや現地検討等を通じて、緊急避難場所や主要な津波避難経路の課題について主に検討しました。

津波が到達するまでに安全な場所へ避難し、津波警報が解除されるまでの安全を確保するためには、以下のような課題があることがわかりました。

1 緊急避難場所の課題

- ① 小学校区を越えた避難行動の可能性があり、避難者の集中によって、入口での渋滞などの混乱が生じるおそれがある。
- ② 新田町、棧橋通二丁目東、棧橋通四丁目東地区は、自主防災組織が未結成であり、避難ビル交渉等の活動ができていない状況である。地区内の候補ビルは複数あるが、指定津波避難ビル数が他地区と比べて少ない。現時点（平成25年度末）で避難困難となる地域がある。
- ③ 高台の緊急避難場所の避難環境（風雨、トイレ対策）が不十分である。津波避難ビルについても、資機材（簡易トイレ、ゴムボート等）の置き場がない場合がある。
- ④ 津波避難ビルの指定にあたって、外付け階段の施錠など常時の管理の問題等により、交渉が保留となっている箇所がある。
- ⑤ 昼間に地震が発生した場合に、病院、学校の児童・生徒、工場・事業所の従業員等の津波避難場所等が十分に把握できていない。また、工場や事業所の安全性等についても把握できていない。

2 津波避難経路の課題

- ① 緊急避難場所の入口や避難方向がわかりにくい。
- ② 潮江東小学校区は、市内でも液状化の可能性が極めて高い地域であり、道路の凹凸や段差等により避難速度が低下することが想定される。
- ③ 夜間の避難対策がなされていない。
- ④ 橋梁の耐震性が不明である。
- ⑤ 水際の河川・港湾施設等の耐震性が不明である。
- ⑥ 交通量の多い道路を横断する経路は、信号が停止することにより横断に時間を要するおそれがある。
- ⑦ 建物に近接して避難する場合に、ガラス等の落下物に注意を要する。
- ⑧ 主要な津波避難経路に至る地区内の狭い道路でのブロック塀、建物倒壊による閉塞のおそれがある。

3 その他の課題

- ① 防災訓練等を企画できる率先避難者が少ない。
- ② 要配慮者（避難行動要支援者）の避難対策が検討できていない地区が多い。
- ③ 津波警報等の情報伝達
- ④ 津波避難ビル等に孤立した場合の連絡方法

4 地域の防災力を向上するための要望

日頃の防災活動を通じた問題点や津波警報解除後の収容避難など、地域の要望として上がった事項は以下のようです。

- ① 土居町他3町（梅ノ辻東防災会、土居町北町町内会防災部会、土居町南防災隊、役知西自主防災会、棧橋通1丁目東町内会防災会）は、合同で避難訓練を行うなど活発な自主防災活動を行っている。地域の防災活動の拠点は、役知公民館であるが手狭で老朽化している。また町内には、複数の指定津波避難ビルがあり、計画上是地区内の人数が避難可能となっているが、小学校区内でも特に高齢化率が高い地域であることから避難行動要支援者対策も必要である。このような地域の実情をふまえて、【地域コミュニティの核となる施設】、【地域の防災学習施設】、【津波避難の機能を有する施設】として役知公民館の土地への新たな施設の設置を要望する。
- ② 津波警報が解除された後の長期浸水対策、避難所への移動、筆山等の高台への防災拠点の整備等について、情報共有を図りたい。

第2節 課題の解決に向けた取組

今後は、対策の方向性や、具体的な取組について検討を継続し、課題の解決に取り組めます。

1 自助・共助を主体とした取組

地区内の住民、各自主防災組織、潮江東地区連合防災会が主体となって以下のような取組を行い、地域の安全度を高めます。

① 避難開始時間の短縮や避難速度の向上

- 学習会、防災士の資格取得等を通じた避難意識の向上
- 防災啓発冊子（「南海トラフ地震に備えちよき」令和2年12月改訂版）等を活用
- 避難訓練の実施

「地域津波避難計画点検マニュアル（高知県 平成25年12月）第3章 実践的な避難訓練の実施」を活用（巻末に添付）

② 中学校区における情報の共有

潮江地区では、小学校区の範囲を超えた避難行動が想定されています。今後は各校区の津波避難計画について情報の共有を図ります。

③ 学校との連携

この計画書を基に、地域の学校（潮江東小学校、潮江中学校、高知南中学校・高等学校）との連携を図り、具体的な活動内容について検討します。生徒や保護者との活動を通じて、地域の率先避難者となる人材の育成を図ります。

2 公助を主体とした取組

自助・共助の取組に対するサポートや、公共事業による整備等において、地域の実情や要望事項等が反映されるよう、積極的に参画します。

- ① 津波避難行動支援マップの作成・配布
- ② 自主防災組織の結成促進
- ③ 多様な組織（学校、病院、事業所等）との連携をサポート
- ④ ソーラー誘導灯の設置
- ⑤ 津波避難ビルの指定
- ⑥ 避難路・緊急避難場所、防災倉庫等の整備
- ⑦ 橋梁・堤防等の耐震対策
- ⑧ 液状化対策
- ⑨ 避難看板・誘導灯の整備
- ⑩ ブロック塀の改修等の補助事業
- ⑪ 津波警報や南海トラフ地震臨時情報等の情報伝達
※ 南海トラフ地震臨時情報については、第8章及び巻末資料をご参照ください。
- ⑫ 孤立した場合の連絡方法の検討

自主防災活動事例集（高知県 平成29年3月）

高知県内を中心に、特色ある活動や、熱心な取組を継続している自主防災組織の活動事例等を紹介しています。今後の自主防災活動の参考にご活用ください。

高知県HP：<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/010201/jisyubo-jirei.html>

潮江東学校区の概況写真

<p>新田町周辺</p>	<p>電車通り</p>
 <p>指定津波避難ビルが少ない地域</p>	 <p>栈橋通り沿いに指定津波避難ビルが集中している</p>
<p>電車通り</p>	<p>電車通り</p>
 <p>ガラス等の落下物に注意</p>	 <p>横断歩道橋で混雑のおそれ</p>
<p>工場地帯</p>	<p>役知公民館</p>
 <p>工場の安全性、従業員の避難計画</p>	 <p>老朽化した公民館</p>

第7章 検討経緯

【年度毎の事業概要】

平成 24 年度

選定した避難路の整備方針を検討(潮江、潮江南小学校区)

津波避難ビルの交渉(潮江南小学校区)

潮江東地区防災連合会の結成

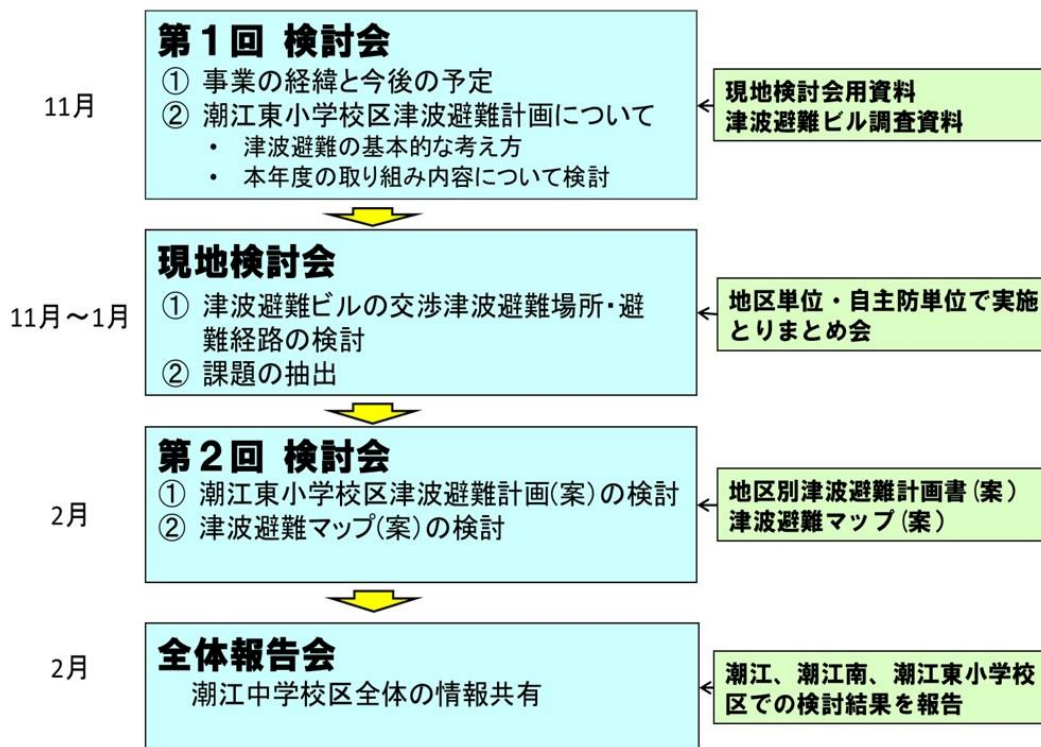
平成 25 年度

避難路の実施設計・工事

津波避難ビル指定の取り組み(潮江中学校区全域)

地区別津波避難計画の策定(潮江中学校区全域)

【平成 25 年度の取組】



【検討会】

名称	開催日	開催場所	参加者数
第1回検討会	平成25年11月30日(土)	潮江東小学校 生涯学習室	19名
とりまとめ会	平成26年1月13日(月)	〃	21名
第2回検討会	平成26年2月2日(日)	〃	23名

【全体報告会】

名称	開催日	開催場所	参加者数
全体報告会 事前打合せ	平成26年2月26日(水)	潮江中学校南舎 3F 会議室	11名 (3小学校区)
全体報告会	平成26年2月28日(金)	〃	55名 (3小学校区)

■平成25年11月24日 土居町他3町避難訓練



■平成 25 年 11 月 30 日 第 1 回検討会



■平成 26 年 1 月 13 日 とりまとめ会



■平成 26 年 2 月 2 日 第 2 回検討会



■平成 26 年 2 月 28 日 潮江中学校区全体報告会



第8章 南海トラフ地震臨時情報発表時における事前避難

南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合など、南海トラフ地震の発生の可能性が高まった場合等に、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。発表時には、発生するおそれのある地震に備え、津波浸水想定区域外の知り合いや親戚宅への自主的な事前避難や日頃の備えの再確認など、住民それぞれの日常生活を考慮した行動が必要です。

南海トラフ地震臨時情報の詳細については、巻末資料をご参照ください。

表 17 南海トラフ地震に関する情報

		発表基準	発表後とるべき行動	市民への情報伝達
南海トラフ地震発生時に発表される情報 (津波に関する警報・注意報)	津波注意報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 1m (20cm<高さ≤1m)	海の中にいる人は、直ちに海から上がって海岸から離れる。津波注意報が解除されるまで、海に入ったり海岸に近づいたりしない。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線 ・緊急速報メール ・広報車 ・ホームページ、SNS等による警報・注意報の伝達・周知
	津波警報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 3m (1m<高さ≤3m)	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難する。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れない。	
	大津波警報	津波による災害の発生が予想される場合 予想される津波の高さ： 5m (3m<高さ≤5m) 10m (5m<高さ≤10m) 10m超 (10m<高さ)		
南海トラフ地震の場合に発表される情報	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)	巨大地震の発生に注意が必要な場合	各々の日常生活を考慮し、自主的な事前避難または日頃の備えの確認を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線、緊急速報メール、広報車、ホームページ、SNS等による伝達・周知 ・日頃の備えの再確認を呼びかけ ・自主避難の啓発(※)
	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)	巨大地震の発生に警戒が必要な場合		<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線、緊急速報メール、広報車、ホームページ、SNS等による伝達・周知 ・事前避難対象地域への避難指示 ・日頃の備えの再確認を呼びかけ ・自主避難の啓発(※)





















※後発地震やそれに伴う津波に備えるために、津波到達時間が短く、地震発生後の避難では間に合わないおそれのある居住者、耐震性の不足する住宅の居住者及び斜面崩壊のおそれがある範囲の居住者に対し、親類や知人宅等への避難を基本とした自主避難の啓発を行う。

巻末資料

- ① 潮江地区 緊急避難場所一覧
- ② 臨時情報について
- ③ 潮江東小学校区津波避難行動支援マップ
(平成 27 年度作成)

①潮江地区 緊急避難場所一覽
緊急避難場所（自然地形の高台）一覽



潮江小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（1/3）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難路の状況
潮江1			筆山ハイキングコース 様子を伺いながら、必要に応じて頂上方面に避難	整備済み（平成26年度） 
	緊急避難場所の標高：15.0m			
潮江2			山腹の平坦地	整備済み（平成23年度） 
	緊急避難場所の標高：21.8m			
潮江3			墓地	整備済み（平成26年度） 
	緊急避難場所の標高：17.3m			
潮江4			墓地	整備済み（平成26年度） 
	緊急避難場所の標高：17.3m			
潮江5			畑地	整備済み（平成26年度） 
	緊急避難場所の標高：12.4m			
潮江6			山腹の平坦地	整備済み（平成26年度） 
	緊急避難場所の標高：30.0m			
潮江7			墓地	
	緊急避難場所の標高：13.5m			

潮江小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（2/3）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難経路の状況
潮江8			筆山トンネル上の広場 兼山公園にもつながっている	整備済み（平成 25 年度） 
	緊急避難場所の標高：11.9m			
潮江9			兼山公園	
	緊急避難場所の標高：11.5m			
潮江10			兼山公園	
	緊急避難場所の標高：11.5m			
潮江11			兼山公園	
	緊急避難場所の標高：11.5m			
潮江12			工業用水道施設	整備済み（平成 25 年度） 
	緊急避難場所の標高：42.9m			
潮江13			宝蔵寺跡	整備済み（平成 25 年度） 
	緊急避難場所の標高：35.1m			
潮江14			高視朝臣邸跡 塩の道、宝蔵寺跡にもつながっている	整備済み（平成 25 年度） 
	緊急避難場所の標高：15.0m			

潮江小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（3/3）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難路の状況
潮江15			はとがさきハイツの敷地内	
	緊急避難場所の標高：10.0m			

潮江南小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（1/4）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難路の状況
潮江南1			砂防堰堤前面の広場 避難場所周辺は、谷地形で出水が著しく、過去に土砂崩壊が発生している	入口に 20cm 程度の段差があり、注意が必要 
	緊急避難場所の標高：21.8m			
潮江南2			潮江南1 と共通	整備済み（平成 25 年度） 
	緊急避難場所の標高：21.8m			
潮江南3			畑地	整備済み（平成 27 年度） 
	緊急避難場所の標高：15.4m			
潮江南4			畑地	整備済み（平成 27 年度） 直線ルートは勾配が急である 南西ルートは勾配は緩やかだが、石積みの崩壊などに注意が必要
	緊急避難場所の標高：12.5m			
潮江南5			市道、畑地 潮江南5～7は共通	車を使った避難が想定されるため、事前のルールづくりが必要
	緊急避難場所の標高：26.0m			
潮江南6			市道、畑地 潮江南5～7は共通	整備済み（平成 26 年度） 
	緊急避難場所の標高：19.3m			
潮江南7			市道、畑地 潮江南5～7は共通 車を使った避難が想定されるため、事前のルールづくりが必要	整備済み（平成 27 年度） 
	緊急避難場所の標高：26.0m			

潮江南小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（2/4）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難路の状況
潮江南 8			畑地 過去に土砂災害の被災履歴があるので、注意が必要	整備済み（平成 27 年度） 
	緊急避難場所の標高：25.5m			
潮江南 9			くるみ幼稚園のプール 過去に土砂災害の被災履歴があるので、注意が必要	整備済み（平成 27 年度） 
	緊急避難場所の標高：25.4m			
潮江南 10			高知桂浜道路 法面部	
	緊急避難場所の標高：40.0m			
潮江南 11			畑地 潮江南 12 と共通	勾配が急 石積みの崩壊や、坂路のひび割れあり
	緊急避難場所の標高：29.5m			
潮江南 12			畑地 潮江南 11 と共通	勾配が急 石積みの崩壊や、坂路のひび割れあり
	緊急避難場所の標高：29.5m			
潮江南 13			高知桂浜道路	
	緊急避難場所の標高：18.5m			
潮江南 14			ホテル山水	
	緊急避難場所の標高：20.0m			

潮江南小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覧（3/4）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難路の状況
潮江南15			畑地	
	緊急避難場所の標高：20.6m			
潮江南16			砂防堰堤前面の広場	ブロック塀倒壊のおそれあり 大山祇神社から幅員が狭くなっている
	緊急避難場所の標高：17.6m			
潮江南17			駐車場 鷺尾山方面へのハイキングコースに続いているので、さらに上へ避難可能	
	緊急避難場所の標高：15.8m			
潮江南18			急傾斜対策施設前面の広場	ブロック塀・古い家屋が多く、倒壊による閉塞のおそれあり
	緊急避難場所の標高：18.1m			
潮江南19			観音寺の駐車場	部分的に、勾配が急な箇所あり
	緊急避難場所の標高：18.2m			
潮江南20			個人宅 さらに上へ舗装路（私道）が続いているので 海拔 20m 以上へ避難可能	車を使った避難が想定されるため、事前のルールづくりが必要
	緊急避難場所の標高：10.6m			
潮江南21			休耕地	
	緊急避難場所の標高：15.5m			

潮江南小学校区：緊急避難場所（自然地形の高台）一覽（4/4）

名称	入口	緊急避難場所	避難場所の状況	整備済みの避難路の状況
潮江南22			墓地、休耕地	整備済み（平成26年度） 
	緊急避難場所の標高：20.0m			
潮江南23			大海津見神社 境内	整備済み（平成27年度） 
	緊急避難場所の標高：24.0m			

津波避難ビル一覧

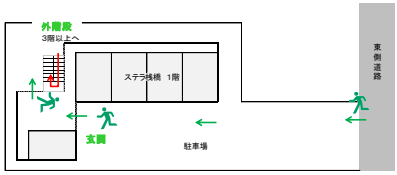
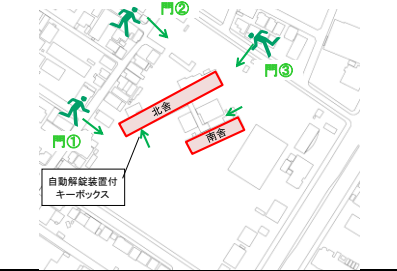
高知市では地域防災推進課のホームページで津波避難ビルの個票を公開しています。個票には施設の概要や施設側からの注意事項、津波避難ビルへの進入方法や避難する場所などの情報が記載されています。日頃から、近隣の津波避難ビルの情報を確認しておきましょう。

【津波避難ビル一覧】

高知市 HP：

<https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/12/tunamihinannbiru.html>

潮江東小学校区：津波避難ビル一覧（1/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江東 2	ステラ栈橋 	鉄筋コンクリート造 8階建	屋上、3階以上廊下 (居住スペースを除く) (302人)	
潮江東 3	潮江東小学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 3階建	北舎及び南舎屋上 (921人)	
潮江東 4	高知市青年センター (アスパルこうち) (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上 (4階あったか スペースを除く) (1,645人)	
潮江東 5	潮江水再生 センター(管理棟) (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 3階建	3階会議室(監視 操作室を除く)、 屋上 (830人)	
潮江東 6	(株)四電工高知支店 	鉄骨造 4階建	4階廊下等共用 スペース及び屋上 (331人)	
潮江東 7	シンセイ高知店 (立体駐車場) 	鉄骨造 4階建	4階以上 (2,834人)	


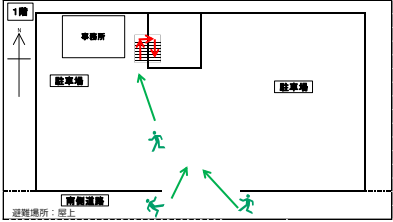
潮江東小学校区：津波避難ビル一覧（2/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江東 8	アステールK 	鉄筋コンクリート造 7階建	4～7階廊下 (300人)	
潮江東 9	旧高知南中学校・ 高等学校 (指定避難所) 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 4階建	北舎4階及び 屋上、南舎4階 (2,366人)	
潮江東 10	フィッシングハヤシ 	鉄筋コンクリート造 5階建	4階通路及び事務 所、5階通路及び バルコニー (506人)	
潮江東 11	有料老人ホーム つばさ 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階エレベーター ホール、4階屋上 (294人)	
潮江東 12	介護老人保健施設 梅壽苑 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階及び5階： 廊下及びバルコニー 6階：廊下、バル コニー及び脱衣室 7階：廊下、会議 室及び屋上 (604人)	
潮江東 13	潮江高橋病院 北棟 	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造) 6階建	6階：職員食堂 及び休憩室 (73人)	

潮江東小学校区：津波避難ビル一覧（3/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江東 14	Hotel Ko's Style 	鉄筋コンクリート造 6階建	4階及び5階：廊下、 バルコニー及びエレベーターホール 6階：屋外テラス、 バルコニー及び エレベーターホール (191人)	
潮江東 15	メゾン・レーヴ潮江 	鉄骨造 4階建	4階廊下 (33人)	
潮江東 16	潮江マンションA 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 10階建	4階以上廊下及び エレベーターホール (531人)	
潮江東 17	ポートハイム28 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 9階建	4階以上廊下及び エレベーターホール (164人)	
潮江東 18	(株) 轟組 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階ホール、和室 及びテラス (599人)	
潮江東 19	高知港湾合同庁舎 	鉄筋コンクリート造 3階建	屋上一部 (125人)	
潮江東 20	潮江市民図書館 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階：プレイルーム 和室、廊下、ベラ ンダ 屋上 (424人)	

潮江東小学校区：津波避難ビル一覧（4/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江東 21	トランスポート 避難ビル 	鉄骨造 2階建	2階屋上 (126人)	

潮江小学校区：津波避難ビル一覧（1/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江 1	土佐中学校・高校 	鉄筋コンクリート造 3階建	体育館棟アリーナ (1,736人)	
潮江 2	潮江中学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 4階建	校舎4階及び屋上 (1,921人)	
潮江 3	百石町市営住宅 	鉄筋コンクリート造 10階建	4階以上廊下、 エレベーターホール (居住スペースを 除く) (1204人)	
潮江 4	北竹島町 市営住宅1号棟 	鉄筋コンクリート造 11階建	4階以上廊下、 エレベーターホール (居住スペースを 除く) (1280人)	
潮江 5	北竹島町 市営住宅2号棟 	鉄筋コンクリート造 11階建	4階以上廊下、 エレベーターホール (居住スペースを 除く) (1200人)	
潮江 6	潮江第一 コミュニティ住宅 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階廊下 (居住スペースを 除く) (45人)	


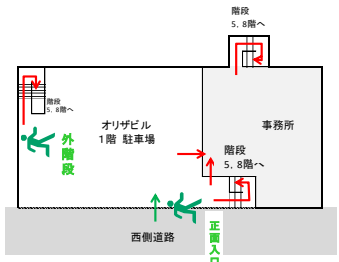

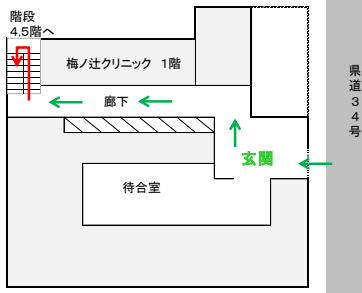

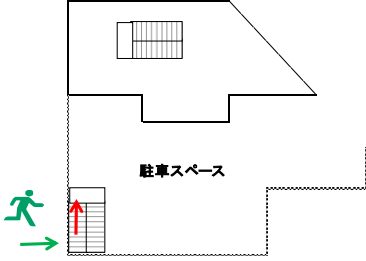



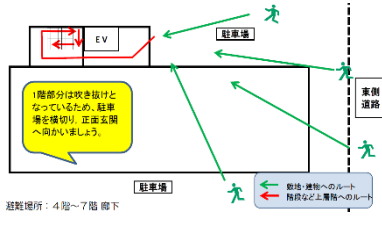
潮江小学校区：津波避難ビル一覧（2/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江 7	潮江第二 コミュニティ住宅 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上廊下、 バルコニー、コミ ュニティスペース (居住スペースを 除く) (704人)	
潮江 8	潮江第三 コミュニティ住宅 	鉄筋コンクリート造 5階建	4階以上廊下 (居住スペースを 除く) (116人)	
潮江 10	高知工業高校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 4階建	1号館、2号館 及び3号館の4階 教室及び廊下、 2号館屋上 (2,213人)	
潮江 11	リヴィエール大高 	鉄筋コンクリート造 8階建	4～8階廊下 及び屋上 (468人)	
潮江 12	ジョンマンマンション 	鉄筋コンクリート造 6階建	4階以上廊下等 共用スペース (居住スペースを 除く) (36人)	
潮江 13	セントラル ディーボ棧橋店 (立体駐車場) 	鉄骨造 5階建	立体駐車場 4階以上 (2,075人)	

潮江小学校区：津波避難ビル一覧（3/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江 14	潮江小学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 3階建	中舎及び南舎屋上 (1,422人)	
潮江 15	エルミタージュ天神 	鉄筋コンクリート造 6階建	4階以上廊下 (66人)	
潮江 16	クリアフジモト 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 8階建	4階以上廊下 (104人)	
潮江 17	パル・ボナール 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階廊下 (18人)	
潮江 18	セントヴィレッジ 	鉄筋コンクリート造 7階建	4階以上廊下 (47人)	
潮江 19	カームリヴ 	鉄骨鉄筋 コンクリート造 8階建	4階以上廊下 (150人)	

潮江小学校区：津波避難ビル一覧（4/4）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江 20	オリザビル 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 8階建	5階：廊下、 エレベーターホール、 休憩室、テイルーム 8階：屋上庭園 (319人)	
潮江 21	梅ノ辻クリニック 	鉄骨造 5階建	4階：エレベーター ホール、パワー リハビリテーショ ン室、バルコニー 5階：廊下、エレ ベーターホール、 会議室、医局 (228人)	
潮江 22	四国銀行 潮江支店 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 3階建	2階屋上及び3階 屋上 (160人)	
潮江 23	棧橋住宅 	鉄骨鉄筋 ｺﾝｸﾘｰﾄ造 (一部鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造) 10階建	屋上 (249人)	
潮江 24	ライフ 	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造 7階建	4階～7階廊下 (84人)	

潮江南小学校区：津波避難ビル一覧（1/2）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江南 1	潮江南小学校 (指定避難所) 	鉄筋コンクリート造 4階建	北舎4階及び屋上 南舎屋上 (コンピュータ室 を除く) (1,699人)	
潮江南 2	高知河川国道事務所 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階大会議室 (50人)	
潮江南 4	第2六泉寺ビル 	鉄筋コンクリート造 4階建	4階廊下 (45人)	
潮江南 5	新高産業社屋 	鉄骨造 4階建	事務所棟及び 工場棟屋上 (485人)	
潮江南 6	マルハン高知棧橋店 (立体駐車場) 	鉄骨造 4階建	立体駐車場 (4階及び屋上) (3,469人)	

潮江南小学校区：津波避難ビル一覧（2/2）

番号	津波避難ビル	構造・階層	避難場所 (収容可能人数)	備考 (入口の状況等)
潮江南 7	高知県トラック会館 	鉄筋コンクリート造 4階建	屋上 (78人)	
潮江南 9	Balcony8 南の丸 	鉄筋コンクリート造 8階建	4階以上廊下 (100人)	

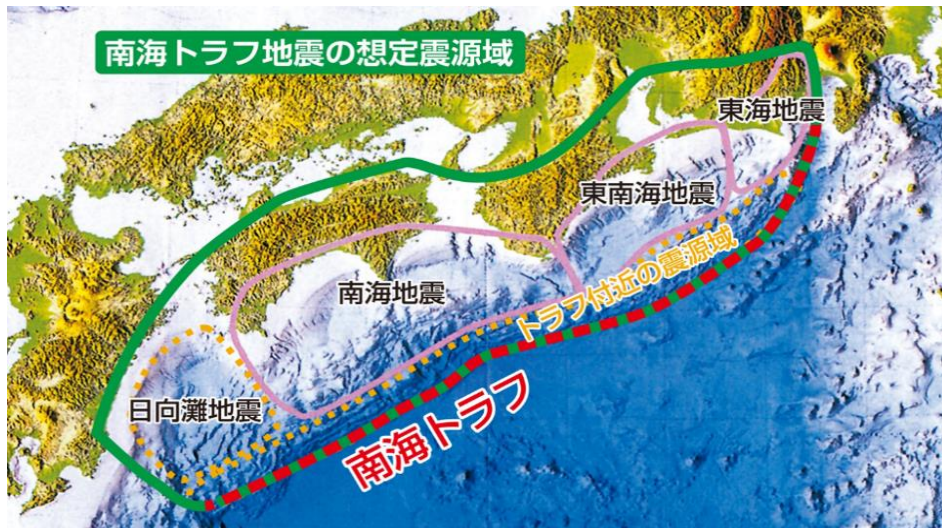
②臨時情報について

資料： 臨時情報について

1 南海トラフ地震臨時情報

(1) 南海トラフ地震臨時情報とは

「南海トラフ地震臨時情報」（以下、臨時情報）は、南海トラフ地震の想定震源域又はその周辺でM6.8以上の地震が発生した場合や南海トラフ地震の想定震源域のプレート境界面で通常とは異なるゆっくりすべりが発生した場合に、それらに対する調査開始の旨、そして、有識者からなる「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」において調査した結果、地震発生の可能性が相対的に高まっていると評価された場合等に、気象庁から発表される情報です。



(参照：海上保安庁海洋情報部と中央防災会議資料をもとに高知大学総合研究センター改変)

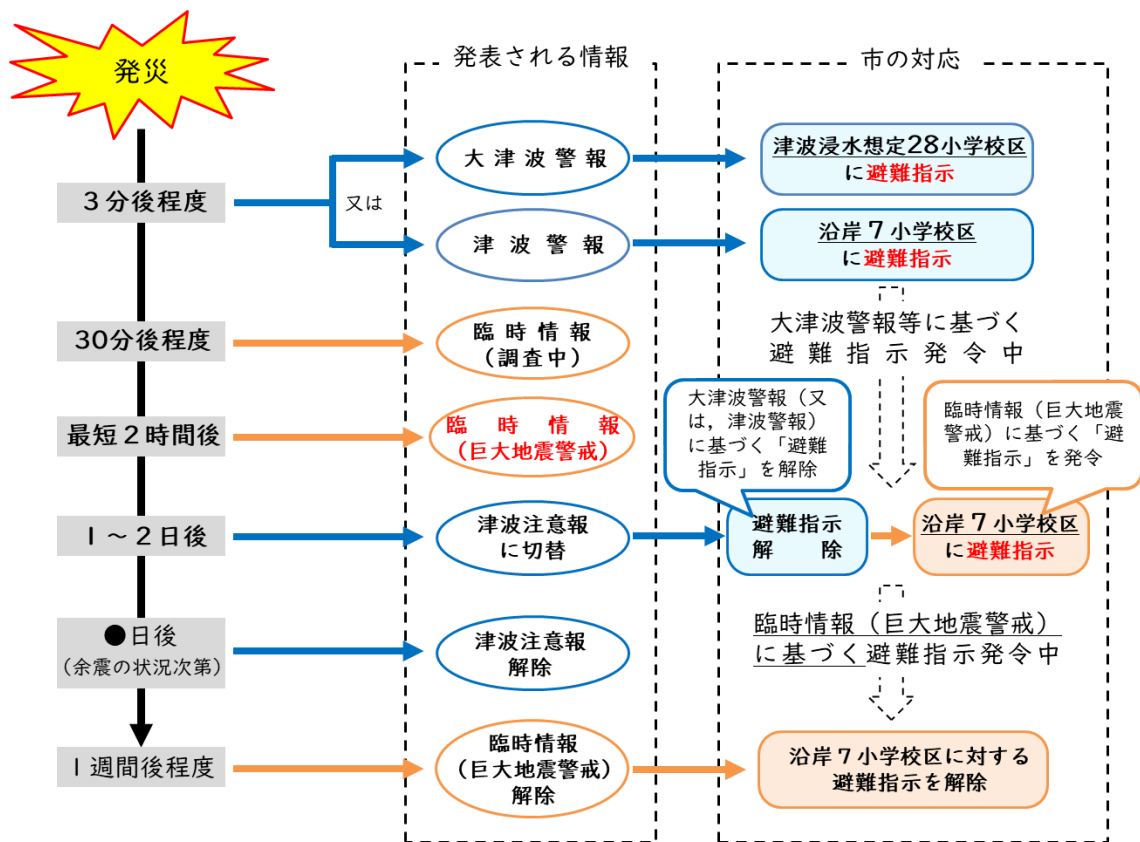
図 南海トラフ地震の想定震源域

異常な現象の発生後、5～30分程度で調査の開始を知らせる「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」が発表されます。この調査の結果は、地震発生の可能性が相対的に高まっている、発生後2時間程度で改めて調査結果が臨時情報として発表されます。各情報（調査結果）の内容及び発表後の防災対応の詳細については、次頁（表 臨時情報の発表と防災対応の内容）を参照ください。

表 臨時情報の発表と防災対応の内容

情報名	発表の条件	防災対応
南海トラフ地震 臨時情報 <u>(巨大地震警戒)</u>	巨大地震の発生に警戒が必要な場合 ※ 南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界において、Mw8.0以上の地震が発生したと評価された場合	【巨大地震警戒対応】 ・日頃からの地震の備えを再確認する ・津波からの避難が間に合わない一部の地域（事前避難対象地域）では引き続き1週間避難を継続 ※ 1週間で「巨大地震注意対応」に引き下げられる。
南海トラフ地震 臨時情報 <u>(巨大地震注意)</u>	巨大地震の発生に注意が必要な場合 ※ 南海トラフ沿いの想定震源域のプレート境界において、 ・Mw7.0以上の地震（巨大地震警戒に該当する場合を除く）（※1） ・通常と異なるゆっくりすべり（※2）が発生したと評価された場合等	【巨大地震注意対応】 ・日頃からの地震の備えを再確認する ※ 1週間程度で解除される。 ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意。
南海トラフ地震 臨時情報 <u>(調査終了)</u>	（巨大地震警戒）、（巨大地震注意）のいずれにも当てはまらない現象と評価された場合	通常の生活。ただし、大規模地震が起きる可能性がなくなったわけではないことに留意。

※1 想定震源域、またはその周辺で Mw7.0 以上の地震が発生（ただし、プレート境界の Mw8.0 以上の地震を除く）
 ※2 住民が揺れを感じることはない、プレート境界面のゆっくりしたずれによる地殻変動を観測した場合など



青色：東側で発生した地震に関連した情報及び対応
 橙色：西側で発生するおそれのある後発地震に関連した情報及び対応

図 南海トラフの東側でMw8.0以上の地震が発生した場合（半割れケース）の対応フロー

2 臨時情報発表時の避難行動

(1) 臨時情報発表時の避難行動の考え方

地震や津波からの避難対策は、基本その場での突発的な対応が基本になりますが、高知市では、より安全に避難を行うための手段として、臨時情報を活用して事前避難対象地域に対しての避難指示の発令のほか、日頃からの地震への備えの再確認や、自主的な避難の呼びかけなどの防災対応を実施します。

① 事前避難対象地域

30cm以上の津波浸水が地震発生から30分以内に生じる地域について、当該地域を事前避難対象地域として設定し、巨大地震警戒対応時には当該地域に居住している方等を対象に、避難指示を発令します。

高知市の事前避難対象地域は、次のとおりです。

【事前避難対象地域】※ 以下7地区のうち、()内に記載の全部、または一部の地域

- ・ 浦戸小学校区（浦戸）
- ・ 長浜小学校区（長浜、御畳瀬）
- ・ 横浜小学校区（横浜、瀬戸東町1丁目、瀬戸東町2丁目、横浜西町、横浜東町、瀬戸1丁目、瀬戸2丁目）
- ・ 三里小学校区（種崎、仁井田）
- ・ 十津小学校区（十津2丁目、十津5丁目、十津6丁目、仁井田）
- ・ 春野東小学校区（東諸木、甲殿）
- ・ 春野西小学校区（仁ノ、西畑）

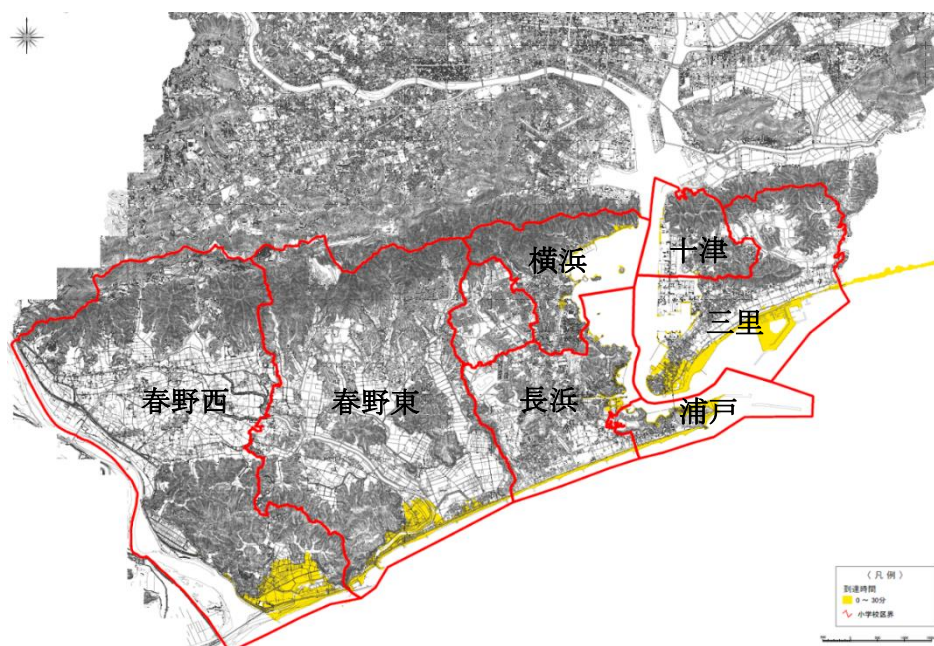


図 高知市の事前避難対象地域（黄色箇所）

事前避難対象地域に居住している方だけでなく、その周辺の方についても、それぞれの状況を考慮し、地震発生後の避難では間に合わないおそれがあると判断した場合、浸水想定区域外の親類や知人宅を基本とした自主避難をしていただくことが必要です。

② 自主的な避難を呼びかける地域

避難指示を発令する事前避難対象地域（またはその周辺地域）にお住まいの方以外の一部の方について、親類や知人宅を基本とした自主避難を呼びかけます。

自主的な避難の呼びかけを行う対象は、次のとおりです。

- ・ **津波到達時間が短く地震発生後の避難では間に合わないおそれのある居住者**

事前避難対象地域に加えて、各人の状況により、地震発生後の避難では間に合わないおそれがある居住者を対象に、自主避難を呼びかけます。

- ・ **耐震性の不足する住宅にお住まいの方**

地震の揺れで倒壊する可能性が高く、避難が困難になることから、臨時情報発表時には、自主的な事前避難を呼びかけます。

- ・ **斜面崩壊のおそれがある範囲にお住まいの方**

地震による土砂災害が発生する可能性が高い範囲として、「土砂災害警戒区域」の斜面際からの距離がおおむね10メートルの範囲内に居住されている方を対象に自主的な事前避難を呼びかけます。

臨時情報は地震発生の可能性の高まりを知らせるものであるため、地震発生可能性と防災対応の実施による日常生活・企業活動への影響のバランスを考えつつ、それぞれがより安全な行動を選択することが必要です。

3 開設される避難所について

臨時情報発表時開設される避難所は、命や財産の安全を最大限図るために設けられる「一般基準」、または、日常生活などを可能な限り阻害しないために設けられる「特別基準」を満たした施設の中から選定し開設します。

これらの基準は、臨時情報（巨大地震警戒）が発表された際の最初の地震発生から1週間程度の間開設される避難所に適用されます。1週間以降2週間経過まで、もしくは臨時情報（巨大地震注意）が発表された際には、親類や知人宅への避難が基本になります。

(1) 一般基準

命や財産の安全を最大限図るため、地震が発生した場合にも一定の安全が確保できる施設を選定する基準が「一般基準」です。一般基準によって選定される避難所は、以下のすべての条件を満たしている施設です。

避難所選定基準【一般基準】

- ・ 津波浸水想定区域外であること
- ・ 土砂災害警戒区域外であること
- ・ 耐震性を備えていること

表 一般基準を満たしている避難所

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	上街	第四小学校 (体育館)	上町二丁目 1-11	616	308	有	なし	なし	有	有
2	小高坂	城西中学校 (体育館)	大膳町 3-5	795	397	有	なし	なし	有	有
3	旭街	旭小学校 (体育館)	本宮町16	801	400	有	なし	なし	有	有
4	旭街	横内小学校 (体育館)	横内242-13	908	454	有	なし	なし	有	有
5	旭街	高知特別支援学校 (体育館)	本宮町125	687	343	有	なし	なし	有	有
6	初月	初月小学校 (体育館)	南久万128	886	443	有	なし	なし	有	有
7	朝倉	朝倉小学校 (体育館)	朝倉本町二丁目11-20	758	379	有	なし	なし	有	有
8	朝倉	朝倉第二小学校 (体育館)	若草南町23-56	1,046	523	有	なし	なし	有	有
9	鴨田	鴨田小学校 (体育館)	鴨部1155	1,119	559	有	なし	なし	有	有
10	鴨田	神田小学校 (体育館)	神田1174-1	878	438	有	なし	なし	有	有
11	鴨田	西部中学校 (体育館)	鴨部一丁目 9-1	800	400	有	なし	なし	有	有
12	秦	秦小学校 (体育館)	愛宕山19	756	378	有	なし	なし	有	有
13	長浜	横浜新町小学校 (体育館)	横浜新町五丁目2201	904	452	有	なし	なし	有	有
14	介良	介良潮見台小学校 (体育館)	潮見台一丁目2602-1	1,068	533	有	なし	なし	有	有
15	土佐山	旧土佐山中学校 (体育館)	土佐山弘瀬405	763	379	有	なし	なし	有	有
16	春野	春野西小学校 (体育館)	春野町弘岡中2501	618	309	有	なし	なし	有	有
17	春野	春野中学校 (体育館)	春野町西分328	1,034	517	有	なし	なし	有	有
合計				14,437	7,212					

(2) 特別基準

事前避難による日常生活及び企業活動の阻害を可能な限り減らすため、一般基準のほかに特別基準を設け、開設する避難所を追加で選定します。

特別基準によって選定する避難所は、次頁の条件を満たしている施設です。

避難所選定基準【特別基準】

- 津波浸水想定区域内にあるが、建物の上階であれば津波浸水をしない避難スペースが確保できる施設
- 避難所の敷地の一部が土砂災害警戒区域内にあるが、実際の避難スペースである建物等が土砂災害警戒区域外にあるなど、最低限安全が確保できる施設
- その他、実際の事前避難者数や開設避難所の偏りなど、地域の実情に応じて順次開設施設を追加

特別基準は、浸水想定区域内に居住している方が必ずしも最寄りの避難所に入ること
を求めたものではありません。それぞれの通勤や通学などといった日常生活の状況を考
慮し、避難所を選択できるようにしたものです。

特別基準を満たしている避難所は、次のとおりです（表 特別基準を満たしている避
難所）。

表 特別基準を満たしている避難所

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	旭街	旭東小学校（体育館）	北端町51	548	274	有	なし	校舎は該当	有	有
2	長浜	横浜中学校（体育館）	横浜新町一丁目401	855	427	有	なし	校舎は該当	有	有
3	長浜	長浜小学校（校舎・2階以上）	長浜4811	1,716	858	なし	(1-2m)	なし	有	有
4	長浜	南海中学校（校舎・2階以上）	長浜5235	1,800	900	有	(0.3-1m)	なし	有	有
5	高知街	第六小学校（校舎・2階以上）	升形9-4	773	386	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
6	北街	はりまや橋小学校（校舎・2階以上）	はりまや町二丁目14-8	1,059	529	有	(1-2m)	なし	有	有
7	下知	昭和小学校（校舎・3階以上）	日の出町7-61	1,165	582	なし	(2-3m)	なし	有	有
8	江ノ口	愛宕中学校（校舎・2階以上）	相模町1-54	1,321	660	なし	(1-2m)	なし	有	有
9	江ノ口	一ツ橋小学校（校舎・2階以上）	吉田町4-10	1,167	583	なし	(1-2m)	なし	有	有
10	江ノ口	城東中学校（校舎・3階以上）	江陽町1-20	387	193	なし	(2-3m)	なし	有	有
11	江ノ口	江陽小学校（校舎・3階以上）	江陽町1-30	208	104	なし	(2-3m)	なし	有	有
12	江ノ口	江ノ口小学校（校舎・3階以上）	新本町一丁目8-12	800	400	なし	(2-3m)	なし	有	有
13	小高坂	小高坂小学校（校舎・2階以上）	新屋敷一丁目11-5	808	404	有	(0.3-1m)	なし	有	有
14	小高坂	城北中学校（校舎・2階以上）	八反町一丁目8-14	1,724	862	有	(0.3-1m)	なし	有	有
15	潮江	潮江中学校（校舎・3階以上）	塩屋崎町一丁目2-20	1,354	677	なし	(2-3m)	なし	有	有
16	布師田	布師田小学校（校舎・2階以上）	布師田1781-1	300	150	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
17	一宮	一宮小学校（校舎・2階以上）	一宮西町一丁目9-1	1,553	776	なし	(0.3-1m)	なし	有	有
18	一宮	一宮中学校（校舎・2階以上）	一宮南町一丁目3-1	1,795	897	なし	(1-2m)	なし	有	有
19	大津	大津中学校（校舎・3階以上）	大津乙740-1	646	323	なし	(2-3m)	なし	有	有
20	大津	大津小学校（校舎・2階以上）	大津乙972	1,016	508	なし	(1-2m)	なし	有	有
21	介良	介良中学校（校舎・3階以上）	介良乙2620	583	291	なし	(2-3m)	なし	有	有
22	介良	介良小学校（校舎・2階以上）	介良乙2735-1	1,482	741	なし	(1-2m)	なし	有	有
23	五台山	青柳中学校（校舎・3階以上）	五台山3923	818	409	なし	(2-3m)	なし	有	有
合計				23,878	11,934					

※1 津波浸水のある施設は、浸水想定を踏まえて施設の上階を避難スペースとする。

※2 津波浸水が3メートルを超えると想定されている施設、津波浸水及び土砂災害の両方に該当する施設については、避難者の安全を確保することが困難であるため、開設避難所候補から除外している。

(3) 巨大地震注意対応時の開設避難所

巨大地震注意対応時は、親類・知人宅等への自主避難が基本になりますが、知人宅等への避難ができない場合を想定して、自主避難者を受け入れる避難所を開設します。この場合の開設避難所は、大雨・台風時に優先的に開設する避難所を候補とします。

巨大地震注意対応時の開設避難所の候補は、次（表 巨大地震注意対応時の開設避難所候補）のとおりです。

表 巨大地震注意対応時の開設避難所候補

No	大街	名称	所在地	収容面積 (㎡)	収容可能人数 (1人/2.0㎡)	備蓄	津波浸水 (L2)	土砂災害 警戒区域	耐震性	駐車 スペース
1	上街	龍馬の生まれたまち記念館	上町二丁目6-33	137	68	有	なし	なし	有	有
2	下知	弥右衛門ふれあいセンター	北御座2-60	659	329	有	(2-3m)	なし	有	有
3	下知	下知コミュニティセンター	二葉町10-7	304	152	有	(3-5m)	なし	有	有
4	江ノ口	江ノ口コミュニティセンター	愛宕町一丁目10-7	258	129	有	(1-2m)	なし	有	有
5	旭街	木村会館	旭町三丁目121	606	301	有	なし	なし	有	有
6	潮江	潮江市民図書館	棧橋通二丁目1-50	636	316	なし	(2-3m)	なし	有	有
7	三里	三里ふれあいセンター	仁井田4229-2	221	110	有	(0.3-1m)	なし	有	有
8	五台山	五台山ふれあいセンター	五台山2945-2	336	167	有	(3-5m)	なし	有	有
9	高須	高須ふれあいセンター	高須新町二丁目5-15	130	65	有	(2-3m)	なし	有	有
10	布師田	布師田ふれあいセンター	布師田1647	139	68	有	なし	該当	有	有
11	一宮	一宮ふれあいセンター	一宮中町一丁目5-20	104	52	有	(0.3-1m)	なし	有	有
12	秦	秦ふれあいセンター	中秦泉寺54-3	210	104	有	なし	なし	有	有
13	初月	初月ふれあいセンター	南久万119-1	94	47	有	なし	なし	有	有
14	朝倉	朝倉ふれあいセンター	曙町一丁目14-12	168	84	有	なし	なし	有	有
15	鴨田	鴨田ふれあいセンター (※西部健康福祉センター)	鴨部860-1	828	414	有	なし	なし	有	有
16	長浜	長浜ふれあいセンター	長浜690-5	150	74	有	(1-2m)	なし	有	有
17	御畳瀬	御畳瀬ふれあいセンター	御畳瀬252	173	86	有	(2-3m)	該当	有	有
18	浦戸	浦戸ふれあいセンター	浦戸274-9	147	73	有	(3-5m)	なし	有	有
19	大津	大津ふれあいセンター	大津乙930-5	165	81	有	(1-2m)	なし	有	有
20	介良	介良ふれあいセンター	介良乙2286	141	70	有	(1-2m)	なし	有	有
21	鏡	中山間地域構造改善センター	鏡小浜8	456	227	有	なし	該当	有	有
22	土佐山	土佐山公民館	土佐山122-1	258	128	有	なし	なし	有	有
23	春野	あじさい会館	春野町西分1-1	357	178	有	なし	なし	有	有
合計				6,677	3,323					

※ 巨大地震注意対応時は、親類・知人宅等への自主避難を基本としているが、知人宅等への避難が困難な場合に、上記施設のうちから、津波浸水がなく、かつ、土砂災害警戒区域に該当しない施設から順次開設予定。

資料Ⅱ： 潮江東小学校区津波避難行動支援マップ（平成27年度作成）

（A3 津波避難行動支援マップ 差し込み）

※ 「潮江東小学校区津波避難行動支援マップ」については、高知市ホームページで閲覧されている方は同ページの「津波避難行動支援マップ」をご覧ください。

作成・改訂履歴

作成・改訂年月	内容
平成 26 年 3 月	作成
平成 28 年 3 月	データ更新
令和 3 年 3 月	データ更新
令和 4 年 12 月	データ更新
令和 6 年 3 月	データ更新
令和 7 年 3 月	データ更新

令和7年3月
高知市防災対策部
地域防災推進課